Microsoft® Office 2016 ファイル フォーマット および ドキュメント レイアウトの互換性について

2017 年 1 月版

内容

1. はし	ごめに	5
2. Mic	crosoft Office 2016 の変更点	8
2.1. N	Aicrosoft Office 2016 の新機能	8
2.1.1.	タッチ モード	8
2.1.2.	操作アシスト	9
2.1.3.	Office 用アプリ	
2.1.4.	リボン カスタマイズ	
2.1.5.	共有	
2.2. N	Aicrosoft Office 2016 で変更された機能	
2.2.1.	インターフェース	
2.2.2.	図形 / 画像の編集	
2.2.3.	数式の挿入	
2.2.4.	セキュリティ	
2.2.5.	バリアフリー	
2.2.6.	バックアップ	
2.2.7.	既定のフォント	
2.3. N	Aicrosoft Office 2016 で削除された機能	
2.4.	ファイル相互利用時の注意点	
2.4.1.	描画エンジンによる影響	
2.4.2.	ワードアートへの影響	
2.5. C	DS による影響	
2.5.1.	印刷への影響	
2.5.2.	タブレット モードで VBE を起動した際の影響	
3. 各7	アプリケーションの変更点	
3.1. N	Microsoft Excel	
3.1.1.	インターフェース	
3.1.2.	データ分析	
3.1.3.	デザイン / 書式	
3.1.4.	関数	
3.2. N	Aicrosoft Word	
3.2.1.		
3.2.2.		
3.2.3.	スタイル	
3.2.4.		
3.2.5.		
3.2.6.	仪阅	
3.2.7.		
3.2.8. ►	削除されにで機能	
3.3. N		
		2

3.3.1.	インターフェース	
3.3.2.	プレゼンテーション	
3.3.3.	文字や図のスタイル	60
3.3.4.	Excel グラフの挿入	
3.3.5.	メディアの挿入と操作	
3.3.6.	校閲とスライド管理	
3.3.7.	アスペクト比	
3.3.8.	保存形式	67
3.4. Mi	crosoft Outlook	67
3.4.1.	インターフェース	67
3.4.2.	アーカイブ機能	
3.4.3.	クラウド添付	
3.4.4.	削除済みアイテムの復元	70
3.4.5.	メモと履歴のカスタマイズ	71
3.4.6.	天気予報バー	72
3.4.7.	People ハブ	72
3.4.8.	削除された機能	74
3.5. Mi	crosoft Access	
3.5.1.		
3.5.2.	テーブル テンプレート	77
3.5.3.	外部リンクされているデータソース情報を Excel にエクスポート	77
3.5.4.	データベース テンプレートのルック アンド フィール	
3.5.5.	[テーブルの表示]ダイアログの拡大表示	79
3.5.6.	データのテキスト型とメモ型	79
3.5.7.	削除された機能	
4. マク	ロ・VBA の非互換について	
4.1. マ	クロ全般に関する留意点	
4.1.1.	VBA 言語互換性、VBA プロジェクトについて	
4.1.2.	ファイル形式に関連した留意点	
4.1.3.	既定でインストールされなくなった機能	
4.1.4.	マクロの記録について	
4.1.5.	OS などによる影響	
4.2. マ	クロ コードの見直しが必要な項目	
4.2.1.	コントロール	
4.2.2.	削除されたオブジェクト モデル	
4.2.3.	動作が変更されたオブジェクト モデル	
4.2.4.	推奨されないオブジェクト モデル	
4.2.5.	Excel の変更	
4.2.6.	Outlook の変更	102
4.2.7.	Access の変更	

5.	参考資料10)9
6.	おわりに11	10

1. はじめに

新しい Office は ロゴも含めて一新され、"Office" と呼ぶことになりました。この新しい Office は、お客 様から数多く頂戴したフィードバックをもとに、利用者がより効率的に、また質の高い作業が行えるように、新 しい機能の追加や、操作性の向上など、様々な側面で大きく改善がされています。また、Office をベースに構 築されるアプリケーションのさらなる強化に向けて、アプリケーションのプラットフォームとしての機能強化も 行っています。

新しい Office のプラットフォームとして強化された機能として、Web の標準的な技術を利用して容易に開発ができる Office 用アプリや、Office のアプリケーションをダウンロード購入できる Office ストアなどが挙 げられます。これらの新しい機能により、Office によるアプリケーションの開発や運用に関わる選択肢が増え ており、Office の利用範囲がますます広がっています。

本ドキュメントでは混乱を避けるため、新しい Office を" Office 2016 "と称しています。また、主に Microsoft Office 2007 から Microsoft Office 2016 への Word、Excel、PowerPoint、Access、Outlook のインタ ーフェースおよび機能の差異について説明します。

本ドキュメントは、組織の中で、Microsoft Office 2007 を運用されている方が 新しいデスクトップ アプリケ ーションとして Office 2016 の導入を行う際に参考にしていただけることを目的としています。

以下に、本ドキュメント内で使用する製品の名称と略称を記述します。

- Microsoft Office 2007 (Office 2007)
- Microsoft Office 2010 (Office 2010)
- Microsoft Office 2013 (Office 2013)
- Microsoft Office 2016 (Office 2016)
- Microsoft Access 2007 (Access 2007)
- Microsoft Access 2010 (Access 2010)
- Microsoft Access 2013 (Access 2013)
- Microsoft Access 2016 (Access 2016)
- Microsoft Excel 2007 (Excel 2007)
- Microsoft Excel 2010 (Excel 2010)
- Microsoft Excel 2013 (Excel 2013)
- Microsoft Excel 2016 (Excel 2016)
- Microsoft InfoPath (InfoPath)
- Microsoft Outlook 2007 (Outlook 2007)
- Microsoft Outlook 2010 (Outlook 2010)
- Microsoft Outlook 2013 (Outlook 2013)
- Microsoft Outlook 2016 (Outlook 2016)
- Microsoft OneDrive (OneDrive)
- Microsoft OneNote 2016 (OneNote 2016)
- Microsoft PowerPoint 2007 (PowerPoint 2007)
- Microsoft PowerPoint 2016 (PowerPoint 2016)
- Visual Basic for Application (VBA)
- Visual Basic Editor (VBE)
- Microsoft Word 2007 (Word 2007)
- Microsoft Word 2010 (Word 2010)
- Microsoft Word 2013 (Word 2013)
- Microsoft Word 2016 (Word 2016)

著作権

このドキュメントに記載されている情報は、このドキュメントの発行時点におけるマイクロソフトの見解を反 映したものです。変化する市場状況に対応する必要があるため、このドキュメントは、記載された内容の実現に 関するマイクロソフトの確約とはみなされないものとします。また、発行以降に発表される情報の正確性に関し て、マイクロソフトはいかなる保証もいたしません。

このホワイト ペーパーに記載された内容は情報提供のみを目的としており、明示または黙示に関わらず、これらの情報についてマイクロソフトはいかなる責任も負わないものとします。

お客様ご自身の責任において、適用されるすべての著作権関連法規に従ったご使用を願います。このドキュメ ントのいかなる部分も、米国 Microsoft Corporation の書面による許諾を受けることなく、その目的を問わず、 どのような形態であっても、複製または譲渡することは禁じられています。ここでいう形態とは、複写や記録な ど、電子的な、または物理的なすべての手段を含みます。ただしこれは、著作権法上のお客様の権利を制限する ものではありません。

マイクロソフトは、このドキュメントに記載されている内容に関し、特許、特許申請、商標、著作権、または その他の無体財産権を有する場合があります。別途マイクロソフトのライセンス契約上に明示の規定のない限 り、このドキュメントはこれらの特許、商標、著作権、またはその他の無体財産権に関する権利をお客様に許諾 するものではありません。

別途記載されていない場合、このドキュメントで使用している会社、組織、製品、ドメイン名、電子メール アドレス、ロゴ、人物、場所、出来事などの名称は架空のものです。実在する名称とは商品名、団体名、個人名 などとは一切関係ありません。

© 2017 Microsoft Corporation. All rights reserved.

Microsoft [®]、Office[®]、Office ロゴ[®]、Office 2007[®]、Office 2010[®]、Office 2013[®]、Office 2016[®]、 Excel[®]、PowerPoint[®]、Access[®]、Bing[®]、InfoPath[®]、Outlook[®]、OneDrive[®]、OneNote[®]、Visual Basic[®] は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

記載されている会社名、製品名には、各社の商標のものもあります。

2. Microsoft Office 2016 の変更点

本章では、Office 2016 に掲載された新機能、Office 2007 から Office 2016 への変更および削除された機能 について説明します。

2.1. Microsoft Office 2016 の新機能

Office 2016 では、リボン インターフェースを拡張し、ユーザーが簡単に Office アプリケーションを活用して、より良い結果をすばやく得られるようなユーザー インターフェースを実現しています。

また、描画エンジンを OS の描画エンジンに統合し、Office 2010 以前のバージョンの Office アプリケーションより高いレベルのグラフィック表現が可能となっています。

2.1.1. タッチ モード

タッチ モードは、コマンドの間隔を広げたり、リボンのボタンを大きくしたりする機能です。これにより、 タブレットなどの画面の小さなデバイスでも、快適に操作することができます。



図 2-1:マウス モード

図 2-2:タッチ モード

2.1.2. 操作アシスト

Office 2016 では、探している機能を見つけ出してくれる操作アシストが追加されました。



図 2-3:操作アシスト (テキスト ボックス)

たとえば、上図のリボンの、「実行したい作業を入力してください」というテキスト ボックスに「図形」と 入力すると、「図形」に関連した機能が表示されます。[図形の作成] にカーソルを合わせると、図形の一覧が 表示され、ここから挿入したい図形をクリックすることで、ドキュメントに追加することができます。



図 2-4:操作アシスト (「図形」と入力した例)

2.1.3. Office 用アプリ

Office 用アプリは、XML マニフェスト ファイルと Web ページで構成され、標準的な Web テクノロジを 利用して容易に開発することができます。これは、Word、Excel などの Office アプリ内で動作し、作業ウィン ドウ、コンテンツ、メール、スケジュールなどを拡張することができます。

Office 用アプリの開発者は、作成したアプリを Office ストアまたはオンサイト カタログに公開し、ユーザ ーに展開することができます。また、グループ ポリシーを使用することで、ユーザーがインストールできる Office 用アプリを制限することも可能です。

➢ Office ストア

Office 2016 では、Word、Excel などの Office アプリ の [挿入] タブ - [ストア] から、Web ブラウザー を開くことなく Office ストアにアクセスすることができます。



図 2-5:Office ストア

➤ Office 用アプリの種類

Office 用アプリ には、作業ウィンドウ、コンテンツ、Outlook 用メール アプリの 3 種類があります。

● 作業ウィンドウ アプリ

作業ウィンドウ アプリは、Office ドキュメントと並べて表示させることができます。たとえば、Word 2016 に Microsoft Translator を追加すると、ユーザーがドキュメント内で選択した情報を取得し、作業ウィンドウから設定した言語での翻訳を表示させることができます。



図 2-6:作業ウィンドウ アプリ (Microsoft Translator を追加した例)

● コンテンツ アプリ

コンテンツ アプリは、Web ベースの機能をコンテンツとしてドキュメントに統合し、ドキュメント内に表示できます。たとえば、Excel 2016 に [E2D3] を追加すると、デザイン ソフトなどを導入することなく多彩なデザインのグラフを簡単に挿入することができます。



図 2-7: コンテンツ アプリ (E2D3 の例)



図 2-8: コンテンツ アプリ (グラフを選択した例)

• メール アプリ

メール アプリは、現在表示されている Outlook のアイテムの横に表示されます。コンテキストに応じて、 サーバーに関する情報や Web サービスにアクセスすることができます。たとえば、Evernote for Outlook を追 加すると、重要なメールを保管したり、Evernote に保存したメールを Outlook に添付して共有したりすること ができるようになります。Outlook にメール アプリを追加するには、リボンの [ストア] から Outlook 用アド インにアクセスし、アプリ名の右側にあるスイッチを [ON] にします。ただし、メール アプリは POP および IMAP 電子メール アカウントはサポートされないため、Exchange Server 2013 または Exchange Server 2016 が必要になります。



図 2-9: メール アプリ (Outlook 用アドインから追加する例)

I 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	受信》	<i>ы</i> .	- Outlook		
ファイル ホーム 送受信 フォル	ダー 表示 McAfee 電子メール スキャン ♀ 実行	したい作業を入力してなさい			
			 ○ 未読/開設 計 分類 * ▶ フラグの設 タグ 	封済み 受新しいガループ ユーザーの検索 ♪ グループの参照 □ アドレス編 マ 電子メールのフィルター処理・ がま ・	Zh7 Evernote
→お気に入り < 受信トレイ 1 送信済みアイテム 下書き 別除済みアイテム 21	環在のメールボックスの検索 Ω 現在のメールホックス・ すべて 未読 ・ 日付の燃ルルワイアム↓ ↓ 今日 Evernote あなたの新しルワークスペー 11:22	会互相 会全員に返信 会員送 Evernote <nx< td=""> あ1- あなたの新しいワークスパース このパーンの表示に朝鮮の多場合は、ご かしていゆうプリーで表気になどと、 「このパーンの表示に朝鮮の多場合は、ご かしていゆうプリーで表気になどと、 「「」」 このパーンの表示に見てなど、 「」」 このパーンの表示に見てなど、 「」」 このパーンの表示に見てなど、 「」」 このパーンの表示に見てなど、 「」」 このパーンの表示に見てなど、</nx<>	・ 11:22 へよ・・・ こをクリッ F。プライ 像は自 💊	Evernote メールを保存 あなたの新しいワークスペースへよう	> *
 A ruji, ichiro@win10mobi 受信トレイ 1 下書き 送信済みアイテム 剤除済みアイテム 21 		 (*) 医療をダウンロード 	4	 ■ 最初のノートブック ▲ タグを追加 	*
RSS フィード アーカイブ 会話の順歴 送信トレイ 洋路メール		Evernote へようこ Evernote は、必要なすべての の、デジタルワークスペースで	そ 2情報_ うす。		0 / 1000
▷ 検索フォルダー ▷ グループ		Evernoteは1つの端末でも です。どこにいても自分のノー す。このメールを各端末で開き さい。	更利て トを閲 5、以 ・	保存 二度とメールを無くさない方法。ノート て、Evernoteのパワフルな検索細胞を う。	× ブックで整理し 活かしましょ

図 2-10: メール アプリ (Evernote for Outlook を追加した例)

▶ サポートされるアプリの種類

Office 用アプリ向けにサポートされているアプリについて、下記表に説明します。

アプリケーション	サポートされる種類
Excel 2016	作業ウィンドウ アプリ コンテンツ アプリ
Excel Online	コンテンツ アプリ
Word 2016	作業ウィンドウ アプリ
Outlook 2016	メール アプリ
Outlook Web App	メール アプリ
Project Professional 2016	作業ウィンドウ アプリ
PowerPoint 2016	作業ウィンドウ アプリ

表 2-1: サポートされるアプリの種類

➤ Office 用アプリの配布

Office 2016 では、Office 用アプリを公開するための配布ポイントがサポートされています。Office 用アプリの開発者は、下記のポイントからアプリをユーザーに配布することができます。

● Office ストア

Office ストアは Microsoft によって管理され、世界中の開発者がカスタムの Office 用アプリを公開およ び販売することができます。ユーザーは、これらの Office 用アプリを Office ストアから取得することが できます。

● SharePoint アプリ カタログ

作業ウィンドウ アプリまたはコンテンツ アプリの場合、Office ストアと同じプライベート アプリ カ タログを展開できます。これにより、Office 用アプリを効率的にユーザーに配布することができます。

● Exchange カタログ

Exchange 管理者が管理するプライベート カタログを使用して、メール アプリを公開および管理することができます。

ファイル ベースのアプリ カタログ

作業ウィンドウ アプリとコンテンツ アプリをファイル共有に展開して、ユーザーはこのファイル共有を 信頼できるカタログとして指定することで、アプリを取得できます。また、グループ ポリシーでファイル 共有を信頼できるカタログとして構成し配布することができます。

▶ Office 用アプリのグループ ポリシー設定

Office 2016 管理用テンプレート ファイル (ADMX、ADML)、Office カスタマイズ ツールで利用できるグ ループ ポリシーの設定により、Office 用アプリの設定を管理および適用することができます。次の表では、 Office 用アプリを管理するグループ ポリシー設定を説明しています。

設定名	説明
セキュリティで保護されていないア プリとカタログを許可します。	セキュリティで保護されていない Office 用アプリをユーザーが実行できる ようにします。セキュリティで保護されていないアプリとは、SSL でセキュ リティ保護 (https://) されていない、ユーザーのインターネット ゾーンに ない、Web ページまたはカタログの場所が含まれるアプリです。
既定の共有フォルダーの場所	共有フォルダーの URL を設定できます。ユーザーは、そこからアプリを Office ドキュメントに挿入できます。
既定の SharePoint カタログの場所	既定に指定する SharePoint カタログの場所を設定できます。既定のカタロ グに含まれる Office 用アプリは、ユーザーが Office ドキュメントに挿入 できます。
Office 用アプリのブロック	ユーザーが Office 用アプリを使用できないようにします。
Office ストアのブロック	Office ストア から入手したアプリをユーザーが使用または挿入できないよ うにします。
信頼できるカタログの場所 (#1 から #10)	信頼できる SharePoint カタログまたは共有フォルダー カタログの URL の 場所を設定します。この場所にある Office 用アプリはすべて信頼できるの で、ユーザーはこれらのアプリをドキュメントで操作できます。ただし、ユ ーザーはこれらのアプリを Office ドキュメントに挿入することはできませ ん。

表 2-2:Office 用アプリのグループ ポリシー設定

● 参考資料

「Office 2013 用アプリの概要」

https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/jj219429.aspx

「Office 2016 管理用テンプレート ファイル (ADMX、ADML) 」

https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=49030

2.1.4. リボン カスタマイズ

Office 2010 以降から、リボンをカスタマイズできるようになりました。たとえば、タブやコマンドを並び替 えたり、リボンの表示と非表示を切り替えたり、使用頻度の低いコマンドを非表示にしたりすることができま す。また、新しく [タブ] や [グループ] を作成して、頻繁に使用するコマンドを入れておくこともできます。

カスタマイズは、アプリケーションごとに保持されているため、Word でリボン カスタマイズした設定が Excel に表示されることはありません。なお、リボンのサイズやテキスト、アイコンのサイズを変更することは できません。



図 2-11: リボン カスタマイズ (設定画面)



2.1.5. 共有

Office 2016 では、OneDrive などのクラウド ストレージをファイルの保存先に選択することで、そのファイルを複数人で編集したり、組織外のユーザーとファイルを共有したりするといった共同作業を簡単に行うことができます。



図 2-13:共有

2.2. Microsoft Office 2016 で変更された機能

Office 2007 から Office 2016 への Office アプリ全般の変更および削除された機能について説明します。

2.2.1. インターフェース

▶ スタート画面

Office 2010 以前では、アプリケーション起動時に空白のドキュメントが開かれていましたが、Office 2013 以降では Word、Excel などの Office アプリの起動時に、最近使ったファイルの一覧や、オンラインテンプレ ートのサムネイルの一覧などが表示されるようになりました。新しくプレゼンテーションの作成を始めたい場合 には、[新しいプレゼンテーション] をクリックします。



図 2-14:スタート画面

▶ Backstage ビュー

Office 2010 から、Word、Excel などの Office アプリのファイルやオプションなどを操作することができ る Backstage ビューが追加されました。Backstage ビュー は、[ファイル] タブをクリックすることで表示さ れます。これは、Office 2007 以前のバージョンで使用されていた Microsoft Office ボタン や ファイル メ ニューに代わるものです。また、[アカウント] や [オプション] の設定をすることもできます。



図 2-15:Backstage ビュー

• アカウント

Backstage ビューの [アカウント] では、使用するアカウントを追加し、Office にサインインしたり、背景やテーマを変更したりすることができます。

Office にサインインすると、OneDrive などの Microsoft オンライン サービスに自動的にサインインす ることができます。これにより、保存先に OneDrive を指定し、他のユーザーとすぐに共有したり、Office の背景やテーマ、接続している Web サービスなどの個人設定を保持したりすることができます。



図 2-16:アカウント

[アカウント] では、各 Office アプリのデザインを変更することができます。タイトルバーの背景を変更 するには、Office にサインインし、[Office の背景] から、背景を選択します。ここでは、[円と縞模様] を 選択した例を下図に示します。

Office の背景:	
円と縞模様	
背景なし	
<i>กมภัววา</i>	– n x
ランチボックス	
円と縞模様	
回路	
学用品	
幾何学模様	
手書きのダイヤモンド	
手書きの円	
春	
水中	
星	
年輪	
麦わら	

図 2-17: Office の背景の設定

図 2-18: Office の背景 (円と縞模様)

テーマを変更するには、[Office テーマ] から、テーマを選択します。ここでは、[濃い灰色] を選択した 例を下図に示します。

Office の背景:	·····································	
円と縞模様 ▼	新規 プレゼンテーションの保護 マハレゼンテーションの保護 マハレゼンテーションが以てユーザーが行える変更の確実な管理します。 マハレゼンテーション	
Office テーマ	上書を成存 名前をはけて成存 コープレゼンテーションの検査	
カラフル 👻	アテルを公開する前に、アテルの次の項目を確認します。 開始の ドキュントのプロリティ、作成着の名前 アテルタ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	*
カラフル		
	122ポート カレビア・ジョンクロチックドを存在して、ない変更の画像会行います。 うび世界・ 第126	

図 2-19:Office テーマの設定

図 2-20: Office テーマ ([濃い灰色])

プレゼンテーション1 - PowerPoint

● Backstage ビューの [オプション]

Backstage ビューの [オプション] は Office 2007 の [オプション] と同じ役割で、Word、Excel などの Office アプリの基本設定から、リボンやクイック アクセス ツール バー、アドインなど、さまざまな設定 をすることができます。

基本設定表示	Word の基本オプションを設定します。		
文章校正	ユーザー インターフェイスのオプション		
保存 文字体裁 言語 詳細設定 リポンのユーザー設定 クイタク アクセス ソール パー アドイン ヤキュリディ ヤンター	□ 選択時にミニツールパーを表示する(M) ① □ リアルタイムの力レビュー表示機能を有効にする(L) ③ □ トラッグ中も文書の内容を更新する(D) ③ ヒントのスタイル(B): ヒントのスタイル(B): ヒントである(U): □ つザー名(U): □ つザー名(U): □ つげっ名(U): □ つげっ名(U): □ つげっ名(U):		
64101 677-	 Office の背泉(B): 円と線模様 ▼ Office テーマ(I): カラフル ▼ 起動時の設定 		
	 既定で Word で間<ファイル拡張子の運択: 		
	他のユーザーと作業するとき、変更内容を目動的に共有: メリセージを表示 💌 🗌 プレゼンス フラグに名柄を表示		
		ОК	キャンセル

図 2-21: Backstage ビューの [オプション]

▶ 作業ウィンドウ

[作業ウィンドウ] は、グラフや図形の書式設定を Office ドキュメントと並べて表示することができます。 Office 2007 では、図の書式設定はダイアログを起動していましたが、Office 2016 では [作業ウィンドウ] を 表示され、連続してグラフや図形の書式設定を編集することができるようになりました。[作業ウィンドウ] を開くには、図形やグラフ上で右クリックし、[図形の書式設定] を選択します。

の書式設定		? ×
 塗りつぶし 塗りつぶし 繰りつ為す 繰りつき式 3-D 回転 図 デキストボックス 	図 全の変更(E) ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	
		閉じる



図 2-22:図の書式設定 (Office 2007)

図 2-23:図の書式設定 (Office 2016)

▷ SDI (シングル ドキュメント インターフェース)

Office 2007 では MDI (マルチ ドキュメント インターフェース) が採用されていましたが、Office2016 では SDI (シングル ドキュメント インターフェース) が採用され、個々のブックを別々のウィンドウで開く ようになりました。これにともなって、オプションの [すべてのウィンドウをタスクバーに表示する] という 項目も削除されました。



図 2-24: MDI による表示

図 2-25: SDI による別ウィンドウ表示

▶ スマート検索

キーワードを Web 検索した結果を Office 画面に表示する検索です。検索したいキーワードを範囲選択 し、右クリックメニューから [スマート検索] を実行することで、Word 内に検索結果を表示することが可能 です。検索エンジンは、bing となっています。



図 2-26:スマート検索とインサイトウィンドウ

2.2.2. 図形 / 画像の編集

▶ オンラインの画像の挿入

オンラインの画像の挿入は、Office 2010 以前のバージョンでは、ブラウザーを開いて画像を検索し、いったん PC に保存してから行う必要がありましたが、Office 2016 では、ブラウザーを開くなど、ドキュメントから離れることなく挿入することができるようになりました。

画像の挿入		× 8 8
Bing イメージ検索 Web を検索します		Q
OneDrive、Facebook、および他のサイトから写: ンインしてください。	真やビデオを挿入するには、Micros	soft アカウントでサイ

図 2-27:オンラインの画像の挿入

▶ 背景の削除

図を選択し、リボンの [書式] から [背景の削除] をクリックすることで、図の背景を削除することでテーマを強調したり、煩雑な情報を削除したりすることができます。



図 2-28:背景の削除 (作業前)



▶ 図の色彩調整

図を選択し、リボンの [書式] から [色] をクリックすることで、画像にアート効果を適用したり、高度 な色彩の調整をしたりすることができます。また、本ドキュメント「2.2.1 インターフェース」で紹介した [作業ウィンドウ] からも同様の作業が可能です。



図 2-30: 図の色彩調整 (作業前)

図 2-31: 図の色彩調整 (作業後)

▶ スクリーンショットの挿入

スクリーンショットは、リボンの [挿入] - [スクリーンショット] から直感的に挿入できるようになりました。使用中のアプリケーションがサムネイルで表示され、選択するだけで簡単に挿入されます。また、画面の 領域を指定することで、画面の一部のスナップショットを作成し、ドキュメントに追加することができます。

🖬 ጛィሮ 🎶 🗅 🍇 ፣ ፣	文書	1 - Wo
ファイル ホーム 挿入 デザイン レイス	ウト 参考資料 差し込み文書 校開 表示 🖓	実行したい 日 5・0 5・1 5・・ 28: Word 82~5 50-0 回 -
	→ 画面の組 Book1 - Excel	

図 2-32:スクリーンショット (挿入画面)

図 2-33: スクリーンショット (挿入後)

2.2.3. 数式の挿入

リボンの [挿入] から、[数式] をクリックすることで、数式をオブジェクトとして、組み込まれた数式やユー ザー独自で作成した数式をドキュメントに挿入することができます。Word 2016 には、ドキュメントにドロッ プできる数式が用意されているため、書式設定を行う必要はありません。



図 2-34:数式の挿入

2.2.4. セキュリティ

▶ 保護ビュー

保護ビューは、セキュリティの条件を満たさないファイルを読み取り専用ビューで開く機能です。安全でな い可能性のある場所にあるファイルには、組織のネットワークに損害を与える可能性のあるウイルス、ワー ム、その他のマルウェアなどが含まれている可能性があるため、保護ビューで開かれます。[編集を有効にす る]をクリックし、保護ビューを終了すると、そのファイルは信頼済みドキュメントになり、編集や印刷が可 能になります。保護ビューを設定するには、[ファイル] - [オプション] - [セキュリティセンター] - [セキュリテ ィセンターの設定] - [保護ビュー]の順にクリックします。

 (個できる時行在 個家できる時行 (国家できる時所) (国家できる時所) 個家でしては、たちょりがに留するかせーンを表示打すた。気味噌のある2からな手知道モデード開始ます。これは、コンピューターへの思想避社最小説に対 えのたいないの意志 マスのの意志 (国家ビニー) アドーン アドーン アドーン アドーン ア・パム開始戦化の意志 マスのの意志 (国家ビニー) アパーン ア・パム開始戦化の意志 アンチィルドーン ア・パム開始戦化の意志 アンチィルドーン ア・パム開始戦化の意志 アンチィルドーン ア・パム開始戦化の意志 アンチィルドーン ア・パム開始戦化の意志 アンチィルドーン ア・パム開始戦化の意志 アンチィルドーン ア・パム開始戦化の意志 アンチィルドーン ア・パム開始戦化の意志 アンチィルドーン ア・パム開始戦化の意志 アンチィルドーン ア・パム開始戦化の意志 アンチィルドーン ア・パム開始戦化の意志 アンチィルドーン ア・パム開始戦化の意志 アンチィルドーン ア・パム開始戦化の意志 アンチィルドーン ア・パム開始戦化の意志 アンチィルドーン ア・パム開始戦化の意志 アンチィルドーン ア・パム開始戦化の意志 アンチィルドーン ア・パム開始戦化の意志 アンチィルドーン ア・パン ア・パン ア・パン ア・パン ア・パン ア・パン ア・パン ア・パ			
OK キャンセル	金額でき発行売 金額でき発行売 金額できなから 金額できないたり 金額できないたりのジェ アドイン 本はいいくの設定 マのの設定 単数に二ッパー ファイル時間転転の設定 プライパシーズがあっ>	御殿上- 欄殿上-一覧をしていたいたいで、「「「「「」」」」」では、コンピューターへの愚悪魔を見かった。 ためいたいこち、の酸化-一号物にないたいたいで、「「「」」」」」」 「「」」(クーターオイトの酸塩(スシーストのように、「「「「」」」」」 「」」(クーターオイトの酸塩(スシーストのように、「「「」」」」 「」」(クーターオイトの酸塩(スシーストのように、「「「」」」」) 「」」()」) 「」」)) 「」」()」) 「」)()」) 「」」) 「」」) 「」」()」) 「」」) 「」」) 「」」) 「」)()」) 「」)()」) 「」)()」) 「」)()」) 「」)」) 「」)」) 「」)) 「」)」) 「」)」) 「」) 「」	:30
		ок * #>1	セル



図 2-35:保護ビューの設定画面

図 2-36:保護ビューで開いた Word ファイル

▶ セキュリティの警告

データ接続、マクロなどのアクティブ コンテンツが設定されたファイルは、組織のネットワークに損害を 与える可能性のあるウイルス、ワーム、その他のマルウェアなどが含まれている可能性があるため、警告のメ ッセージ バーが表示されます。ただし、ファイルの発行元が信頼できる場合や安全だとわかっている場合、 [コンテンツの有効化] をクリックすることで、マクロを有効にすることができます。

	. 5-	¢-	÷						Book1	.xlsr	m - Excel						ħ	インイン	Ε.		٥	×
=	ファイル	ホ ーム	挿入	ページ レイアウト	数式	データ	校闆	表示	♀ 実行したい作業を	入力し											Я	共有
	* *	MS	P ゴシック	· 11	· A A	= =	- *	齡折	り返して全体を表示す	ล	標準	*				e	×		Σ·	A Z	0	
贴	わけけ ・	в	I∐.≁	🗉 - <u>ð</u> - <u>A</u>	- ž -	==	≡ ₹	≣ ≣ t.	ルを結合して中央揃え	Ŧ	₽ • % •	€.0 .00 0.€ 00.	 条件付き 書式 ▼	テーブルとして 書式設定 ▼	セルの スタイル・	挿入	削除	書式	↓ •	ー 並べ替えと フィルター、	: 検索と 選択・	
ゥ	リップボード	G.		フォント	G.			配置		r _a	数値	G.		スタイル			セル			編集		~
	! t‡11	ティの警告	き マクロがき	無効にされました。	コンテン	9の有効化																×

図 2-37: マクロが組まれた Excel ファイルを開いたときの警告バー

また、[ファイル]-[情報] からコンテンツの有効化をすることもできます。[セキュリティ警告] から、[コ ンテンツの有効化] をクリックすると、ドロップダウン リストで [すべてのコンテンツを有効にする] と、 [詳細オプション] が表示されます。[すべてのコンテンツを有効にする] を選択すると、コンテンツが有効化 されます。[詳細オプション] をクリックすると、[セキュリティの警告 - マクロ] ダイアログが開きます。[こ のセッションのコンテンツを有効にする] を選択し [OK] をクリックすることで、マクロが有効化されます。



図 2-38: 信頼済みドキュメント

図 2-39: セキュリティの警告

▶ ファイル制限機能の設定

ファイル制限機能は、古い形式のファイルを開けないようにしたり、編集や保存ができないよう保護ビュー で開くようにしたりする機能です。Office 2007 では、Office レジストリからしか設定ができませんでした が、2010 からは Office のオプションから設定できるようになりました。ファイル制限機能の設定を行うに は、リボンの [ファイル] - [オプション] - [セキュリティセンター] - [セキュリティセンターの設定] - [ファイル 制限機能の設定] の順にクリックします。



図 2-40:ファイル制限機能の設定

また、[ファイル制限機能の設定] - [選択した形式のファイルを開く処理:] で、[選択した形式のファイルを 保護ビューで開く] を選択すると、指定した形式のファイルでは保存、印刷、編集ができません。[選択した 形式のファイルを保護ビューで開き、編集可能にする] を選択した場合は、[編集を有効にする] をクリックす ることで、保存、印刷、編集ができるようになります。[選択した形式のファイルを開かない] を選択した場 合は、ファイルを開くことができません。



図 2-41: 選択した形式のファイルを保護ビューで開く









2.2.5. バリアフリー

アクセシビリティ チェック

アクセシビリティ チェックは、視覚に障碍のある方にとって観覧しにくい内容かチェックします。検査結 果について、下記表に示します。

検査結果	詳細
エラー	障碍のあるユーザーにとって理解する ことが非常に難しいまたは、不可能な コンテンツが含まれます。
<u> </u>	障碍のあるユーザーが理解しにくいコ ンテンツです。
ヒント	障碍のあるユーザーでもコンテンツを 理解することができますが、操作性を 向上させるには、コンテンツをわかり やすく整理または表示することをお勧 めします。

表 2-3: アクセシビリティ チェックの結果詳細

アクセシビリティ チェックをするには、リボンの [校閲] から、[アクセシビリティ チェック] をクリック します。

日 5 · U A · C & · - 文書								
ファイル ホーム 挿り	デザイン	レイアウト	、 参考)	資料	差し込み文書	校閲	表示	Ŷ
▲ スペル チェックと文章校正 □ 類義語辞典 価 文字カウント 文章校正	アクセシビリティ チェック アクセシビリティ			ましい 新しい コメント			変更記	る歴の
L		8 6	4 2	2 2	4 6 8	10 12	14	16 18

図 2-44:スクリーンショット (挿入画面)

I	5-
Þ	代替テキストがありません (66)
普	
4	不定期の見出し
	この文書
4	ハイパーリンク テキストが明確ではありません
	https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/jj219429.aspx
4	見出しが長すぎます
	操作アシストリンクされているデータ ソース情報を Excel にエクスポート操作アシスト
	VBA 言語互換性、VBA プロジェクトについてファイル形式に関連した留意点既定でインストールされなくなった機能マクロの…
Þ	画像またはオブジェクトが行内にありません。(27)
4	空白文字が繰り返されています
	6 文字
	5 文字
	5 文字
	4 文字
	4 文字
加	l情報

図 2-45:スクリーンショット (挿入後)

2.2.6. バックアップ

Word、Excel などの Office アプリでは、ドキュメントを一定間隔で自動的にバックアップします。これにより、作業途中に保存しないまま PC の電源が落ちてしまったり、アプリが停止してしまったりした場合でも、バックアップした時点まで回復させることができます。バックアップの間隔は、既定では 10 分ですが、[ファイル] - [オプション] - [保存] – [文書の保存] – [次の間隔で自動回復データを保存する] から、ユーザー任意で設定することができます。

基本設定 表示	
文章校正	文書の保存
保存 文字体载 言語 詳細設定 リボンのユーザー設定 クイック アクセス ツール パー アドイン セキュリティ センター	 【濃迎のファイル保存形式(E): Word 文書 (*.docx) ▼ ② 次の間隔で自動回復用アークを保存する(Δ): 10 ○ 分乙と(M) ③ 保存しないで終了する場合、最後に自動保存されたバーションを残す(U) 目動回復用ファイルの場所(B): C:¥Users¥kurosake¥AppData¥Roaming¥Microsoft¥Word¥ 参照(B) □ ファイルを開いたりするときに Backstage を表示しない(S) ④ サインインが必要な場合でも、その他の保存場所を表示する(S) □ 既定でコンピューターに保存する(C) 既定のローカル ファイルの保存場所(D): C:¥Users¥kurosake¥Documents¥ 参照(B)
	 (風人用テン九ートの既定の場所(I): ドキュメント管理サーバーファイル用のオフライン編集オプション チェックアウトしたファイルの保存先: ① ○ 2のコンピューター上の、サーバーのファイルの下書きの場所(L) ④ Office ドキュメント キャッシュ(Q) サーバーのファイルの下書きの場所(⊻): C:¥Users¥kurosake¥Documents¥SharePoint 下書き¥ 参照(<u>B</u>)
	次の文書を共有するときに再現性を保つ(D):
	OK キャンセル

図 2-46: バックアップ

2.2.7. 既定のフォント

Office 2016 から、Word、Excel、PowerPoint の既定のフォントが、MS 明朝体や MS P ゴシック体から、游 明朝体や游ゴシック体に変更になりました。それぞれの差異について、下記表に示します。

アプリ	Office 2007	Office 2016
Word	MS 明朝	游明朝
Excel	MS P ゴシック	游ゴシック
PowerPoint	MS P ゴシック	游ゴシック

表 2-4:既定のフォント

2.3. Microsoft Office 2016 で削除された機能

Office 2016 で削除された機能について、下記に示します。

• InfoPath

InfoPath の開発は Infopth 2013 で終了したため、Office 2016 には含まれません。

● 参考資料

「InfoPath 2013 と SharePoint Designer 2013 の Office 2016 や他製品との互換性について」 https://blogs.technet.microsoft.com/sharepoint_support/2016/12/16/compatibility-issues-of-infopath-2013-and-sharepoint-designer-2013-with-office-2016/

• IME

Office 2016 のセットアップには、IME コア モジュールが含まれません。

2.4. ファイル相互利用時の注意点

ここでは、Office 2013 と Office 2010 以前のバージョンとの間でファイルの相互利用を行う際に、ファイル サイズへの影響と描画エンジン、印刷、テキスト レイアウトおよびグラフのスタイルに対する影響ついて、注 意点を説明します。

2.4.1. 描画エンジンによる影響

Office 2016 では、より幅の広い表現を実現するため Word、Excel、PowerPoint の描画エンジンを刷新し、 より高いパフォーマンス、高品質な図形オブジェクトの作成と編集が可能になりました。ただし、一部のオブジ ェクトや互換モード、印刷では 旧バージョンの Office の描画エンジンを使用します。

描画エンジンは Office 2003 以前、Office 2007、Office 2010、Office 2013 と段階的に改善されており、その 影響として、Office 2010 以前のバージョンで作成したファイルを開くと表現方法が変わっていたり、描画でき るオブジェクトの既定値がこれまでと違っていたりすることがあります。最新の描画エンジンへの移行レベルは 各アプリケーションで異なっており、それに応じて影響を受ける文字・フォントも異なります。

▶ 図形のデザイン

Office 2016 では、円柱の円周部分の角度が 0 に設定されていると、塗りつぶしの形状が変化する現象が 発生します。角度調整ハンドルでドラッグする方法を用いて、円柱の傾き角度を、0 以外に設定すること で、この問題を回避することができます。円柱の傾きと角度を 0 にした場合の例を下図に示します。



図 2-47: 傾きと角度 0 以上の場合

図 2-48: 傾きと角度 0 の場合

2.4.2. ワードアートへの影響

Office 2016 では、図形内およびテキスト ボックス内のテキストも図形と同じ描画エンジンで表現するよう になり、ワードアート オブジェクトという概念はなくなりました。Office 2007 以前のバージョンでワードア ート オブジェクトを使用したファイルを Office 2016 で開くと、同等の装飾効果が施されたテキストに変換さ れます。見た目はほとんど変わりませんが、影などの既定値が変わった効果の影響で若干見た目が変わることが あります。Office 2016 で上書き保存し、再び Office 2007 以前のバージョンで開いた場合は、ワードアートと して編集することが可能です。しかし、Office 2016 で、Office 2007 以前のバージョンではサポートしていな い種類の装飾効果に変更を行った場合は、Office 2007 以前のバージョンで開くとテキストの装飾効果が失われ ます。

▶ 描画エンジンの違いによる注意事項

異なるバージョンの Office が共存する環境では、描画エンジンの違いにより、表示や動作が変化します。 異なる Office バージョンが共存する環境でファイルの編集を行うとき、どちらの環境でも同じ効果を維持す るためには、新バージョンでは互換モードで編集を行います。

下記の表は Office 2016 で描画エンジンを利用して作成したファイルを、Office 2007 で開いた場合の視覚 効果と編集可否の変化を示しています。なお、ファイルは下記の効果を含んでいます。

<適用した効果>

- ワードアート
- 図形の効果(3-D効果、反射など)
- 図形・テキスト ボックス内のテキストの効果 (グラデーションなど)



表 2-5:効果の互換性

2.5. OS による影響

2.5.1. 印刷への影響

▶ 既定のプリンター

Office インストール時の規定のプリンターが、OS のバージョンにより異なります。

OS バージョン	規定のプリンター				
Windows 7	Send と OneNote 2016				
Windows 8 / 10	Microsoft XPS Document Writer				

表 2-6:既定のプリンター

▶ ファイル形式

プリンターに Microsoft XPS Document Writer を指定した場合、OS のバージョンによりファイル形式が異なります。

OS バージョン	ファイル形式					
Windows 7	XPS ドキュメント(*.xps)					
Windows 8 / 10	OpenXPS ドキュメント(*.oxps) XPS ドキュメント(*.xps)					

表 2-7:既定のプリンター

▶ 印刷範囲やセル幅の変更

異なる複数の Windows 環境で Excel ファイルを共有すると、印刷範囲、セルの幅、または高さが変更される場合があります。

● 参考資料

「異なる複数の Windows 環境で Excel ファイルを共有すると、印刷範囲、セルの幅、または高さが変更 される場合がある」

https://support.microsoft.com/ja-jp/kb/400271

2.5.2. タブレット モードで VBE を起動した際の影響

Windows 10 に搭載された [タブレット モード] を設定すると、下記の制限がかかります。

- [タブレット モード] を設定した状態で VBE を起動すると、ウィンドウのみが開き、編集することができ ません。
- [タブレット モード] が設定されている場合、Office 2016 ではウィンドウは全画面表示のみの対応になり ます。

3. 各アプリケーションの変更点

本章では、Office 2007 から Office 2016 への変更および削除された機能について、プロダクションごとに説 明します。

3.1. Microsoft Excel

3.1.1. インターフェース

チャート アニメーション

グラフの元データを変更するとグラフが滑らかに変化するようになりました。値の増減に合わせてグラフが 変化する様子がアニメーション表示されます。

▶ フラッシュ フィル

ユーザーの入力したデータの入力規則に従って、自動的にデータが入力される機能です。Excel 2013 から追 加された機能で、これまで関数などで実現していた自動入力の操作を行うことができます。複数の行や列を編 集する場合、入力規則がわかるように項目を入力すると残りの部分にプレビューが表示されます。そのまま [Enter] キーを押すと、プレビュー表示されている項目が確定されます。また、フラッシュ フィルによる自動 入力を行いたいセルを選択し、[データ] タブの [データ ツール] グループにある [フラッシュ フィル] をク リックすることで、手動実行することも可能です。

А	В	С	
	名称	略	
	Microsoft Office 2016	Office	
	Microsoft Access 2016	Access	
	Microsoft Excel 2016	Excel	
	Microsoft InfoPath 2016	InfoPath	
	Microsoft Outlook 2016	Outlook	
	Microsoft PowerPoint 2016	PowerPoint	
	Microsoft Project 2016	Project	
	Microsoft Publisher 2016	Publisher	
	Microsoft SharePoint Server 2016	Server	
	Microsoft Visio 2016	Visio	
	Microsoft Word 2016	Word	

図 3-1: フラッシュ フィル による自動入力
▶ おすすめグラフ

選択しているデータセットの値に合わせて Excel が見栄えの良いおすすめのグラフを提示する機能が追加さ れました。 [挿入] タブの [おすすめグラフ] をクリックすると、グラフを挿入するためのウィンドウが開 き、その中にデータに合わせたグラフが一覧表示されます。その中から1つを選び、[OK] ボタンを押すこと でグラフを追加することが可能です。

グラフの挿入		?	×
	ガラフタイトル グラフタイトル 2000,000 1000,000,000 1000,000 1000,000,000 1000,000,000 1000,000,000 1000,000,000 1000,000,000 1000,000,000 1000,000,000 1000,000,000,000 1000,000,000,000 1000,000,000,000,000,000,000 1000,000,000,000,000,000,000,000,000,00	≦重要な複数の項 プラフを使用します	目を 「.
	c)K ‡†?	ンセル

図 3-2:おすすめグラフ

▶ おすすめピボットテーブル

選択しているデータセットの値に合わせて Excel が見栄えの良いおすすめのピボットテーブルを提示する 機能です。 [挿入] タブの [おすすめピボットテーブル] をクリックすると、ピボットテーブルを挿入するた めのウィンドウが開き、その中にデータに合わせたピボットテーブルが一覧表示されます。その中から 1 つ 選び、[OK] ボタンを押すことでピボットテーブルを追加することが可能です。

おすすめピボットテーブル				×
地域 (集計元: 合計 / value)	地域 (集計元: 合計	/ value)		
行ラベル - 合計 / value 関連 2050	行ラベル 🖃 合計 /	value		
近映 750 四国 70	関東	2050		
中国 220 中部 310	近畿	750		
東北 110	四国	70		
2/#週 50 111世(住計寺・(周数 / No)		000		
	王王	220		
17.7 ヘル し 1000 / 100	中部	310		
近畿 3 回回 2	東北	110		
中国 2	北海道	50		
平部 1 東北 1	2公司4	2560		
	#6 R I	3500		
地域 (集計元: 合計 / No)				
行ラベル ↓ 合計 / No 関東 36				
近畿 19				
中国 14				
+B 14				
東北 7 北海道 15				
空のビボットテーブル <u>ソース データの</u>	<u>D変更</u>	ОК	キャン	tzik

図 3-3:おすすめピボットテーブル

▶ クイック分析レンズ

データセットを選択すると、適用可能な機能が一覧表示される機能です。範囲選択を行うと、右下にクイッ ク分析レンズというボタンが表示されます。これをクリックすると、選択中のデータセットで適用可能な書式 や作成可能なグラフが一覧表示されます。



図 3-4:おすすめクイック分析レンズ

▶ チャート フォーマッティング コントロール

グラフを選択すると右上にグラフ要素を変更するためのボタンが表示されます。これをクリックすると、選 択中のグラフの要素やスタイル、テーマ色を変更することが可能です。



図 3-5:チャート フォーマッティング コントロール

> 3D Maps

3-D 地理空間視覚エフェクトツールが Excel で利用できるようになりました。これまでアドインとして提供 されていた 3 次元可視化ツールが、Excel 2016 から Excel に完全統合され、[挿入] タブの [ツアー] グループ 内に 3D マップという名前で追加されています。Excel で作成したデータを、Bing 地図上に立体的に表示する ことができます。



図 3-6:3D マップ

3.1.2. データ分析

▶ フィルターの検索

フィルター項目に対して文字列検索をかけることができます。これによって、素早くフィルター項目を絞り込むことが可能になります。



図 3-7:フィルターの検索

▶ ピボットテーブルの行ラベルの繰り返し

行または列に同一項目があったりするとグループ化されて表示されます。グループ化されるとデフォルトで は最初のラベルのみが表示されます。右クリックメニューの中から [フィールドの設定] を選択し、[レイアウ トと印刷] タブ内の、[アイテムのラベルを繰り返す] および [アイテムのラベルを表形式で表示する] を有効 にすることで、各行や列で非表示になっているラベルを表示することができます。



図 3-8:ピボットテーブルのラベルの繰り返し

▶ ピボットテーブルの計算方法の追加

計算方法が新しく6つ追加され、簡単に適用することができます。追加されたのは、親行集計に対する比率、親列集計に対する比率、親集計に対する比率、比率の累計、昇順での順位、降順での順位です。それぞれ、[値フィールドの設定] ウィンドウの中の [計算の種類] タブの中で適用することができます。

Excel 2007	Excel 2016
標準	計算なし
全体に対する比率	総計に対する比率
列方向の比率	列集計に対する比率
行方向の比率	行集計に対する比率
基準値に対する比率	基準値に対する比率
-	親行集計に対する比率
-	親列集計に対する比率
-	親集計に対する比率
基準値との差分	基準値との差分
基準値に対する比率の差	基準値との差分の比率
累計	累計
-	比率の累計
-	昇順での順位
-	降順での順位
指数(インデックス)	指数(インデックス)

表 3-1: ピボットテーブルの計算方法一覧

▶ スライサー

スライサーは、既存のピボットテーブル内のデータをフィルタリングすることができる機能です。スライサ ーは、ドロップダウンリストによる抽出と異なり、視覚的にデータを絞り込めます。指定したフィールドごと にスライサーが挿入され、スライサー内の項目をクリックすることで容易にフィルタリングが行えます。複数 選択によって複数項目によるフィルタリングも可能です。

行ラベル 🛒	合計 / 数量	
□1月		
kitano	250	kitano
yamada	1993	sato
■2月		suzuki
yamada	755	tanaka
□3月		vamada
yamada	723	
■4月		
kitano	595	
■5月		
yamada	358	o o o
総計	4674	

図 3-9:スライサー

▶ タイムライン

タイムラインは、ピボットテーブル内のデータを簡単に時間軸で絞り込める機能です。タイムラインを使用 するには、 [分析] タブの [フィルター] グループにある [タイムラインの挿入] をクリックします。挿入され たタイムラインのバーを操作することで、日付フィールドに対して指定した期間でフィルタリングを行うこと が可能です。

	<u> </u>		0
付			₹
017 年 2 月 ~ 3 月			月 👻
017			0
2 3 4	5 6	7 8 9	10 1
			Þ
	0		0
	付 17年2月~3月 17 234	付 17年2月~3月 17 23456 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	付 17年2月~3月 17 23456789

図 3-10:タイムライン

▶ ピボットグラフのフィルター機能

ピボットグラフ内にフィルター用のボタンが表示されるようになり、そこから直接フィルターがかけられる ようになりました。Excel 2007 までは、別に表示されるピボットグラフ フィルタ ウィンドウ からピボット グラフに対してフィルターをかけていました。Excel 2010 以降は、ピボットグラフ内にフィルター用のボタ ンが表示されており、それをクリックするとフィルター用のメニューが開いて設定が行えます。



図 3-11:ピボットグラフのフィルター機能

▶ スパークライン

スパークラインは、1つのセルの中に簡易的なグラフを挿入する機能です。グラフは一般的なオブジェクト とは異なり、セルの背景として挿入されます。折れ線グラフや棒グラフを挿入することができますが、目盛な どは表示されません。元となる数値データと合わせて表示することで、データの傾向を視覚的に表現する際に 役立つ機能です。

		1	2年-1月	1	2年-2月	12年-3月		
収入 (売上)	傾向							
収入 1	\checkmark	¥	18,600	¥	10,800	¥	9,200	
収入 2	$\sim \sim \sim$	¥	1,500	¥	1,600	¥	19,800	
収入 3	$\sim \sim \sim$	¥	16,600	¥	18,500	¥	8,900	
収入 4	$\sim\sim$	¥	2,100	¥	11,300	¥	8,300	
収入 5	$\sim \sim \sim$	¥	7,000	¥	16,000	¥	12,500	
収入 6	$\sim\sim\sim\sim$	¥	6,100	¥	9,900	¥	7,000	
収入 7	\sim	¥	10,500	¥	5,500	¥	16,300	
売上合計	\sim	¥	62,400	¥	73,600	¥	82,000	

図 3-12:スパークライン

▶ データの入力規則

入力規則に他のワークシートへの参照を含めることができます。Excel 2007 までは、データの入力規則に 設定できる値は同一シート内のものに限られていましたが、Excel 2010 以降は別シートの値も入力規則とし て設定することが可能になりました。

Power View

Power View シートを追加し、データを選択することで分析結果を容易にグラフ化することができる機能で す。また、時系列でのデータの変化をアニメーションで表示できます。Excel 2016 では、[挿入] タブから削 除されているためデフォルトではリボンに表示されていません。リボンのユーザー設定から [Power View レ ポートの挿入] を追加することで、リボンに表示することが可能です。





▶ リレーションシップ

別々に管理されているデータベースの情報の関連付けをします。[データ] タブの [データ ツール] グルー プ内の [リレーション] をクリックすると、2つのテーブルの関係性を設定するためのウィンドウが表示され ます。任意のテーブルとフィールド名を設定するだけでリレーションシップの設定が行えます。



図 3-14:リレーションシップ

▶ ワンクリック予測

1回のクリックで、過去のデータに基づいて傾向を予測できます。日付や時刻といった基準データと、それに対応した値の列を選択し、[データ] タブの [予測] グループ内の [予測シート] をクリックすることで入力値以降の値を予測した表とグラフが新しいシートとして挿入されます。

	Α	В	A	B	C	D	E	F	G	Н	1	J	K	L	М	N	0	Р
1	2017/1/1	20	タイムライン 💌 値	▼ 予測	▼ 信辞	鎮下限 🔽 🛙	信頼上限 💌											
2	2017/1/2	34	2017/1/1	20														
3	2017/1/3	42	2017/1/2	34														
4	2017/1/4	25	2017/1/3	42														
5	2017/1/5	33	2017/1/4	25														
6	2017/1/6	16	2017/1/5	33					250									
7	2017/1/7	64	2017/1/6	16					200									
8	2017/1/8	57	2017/1/7	64					200									
9	2017/1/9	80	2017/1/8	57					150 —									
10	2017/1/10	91	2017/1/9	80					100			~						
11	2017/1/11	121	2017/1/10	91					50	-	\sim				/			
12	2017/1/12	40	2017/1/11	121					0 -		\sim							
13	2017/1/13	37	2017/1/12	40					-50									
14	2017/1/1/	30	2017/1/13	30					-00									
15	2017/1/15	30	2017/1/15	32					-100									
16	2017/1/16	27	2017/1/16	27	_				-150									
17	2017/1/17	21	2017/1/17	25					-200	~ ~ ~ ~			~ ~ ~ ~	(0 b (0			(0 b (0 (
10	2017/1/17	10	2017/1/18	18					Ę.		1	5 7 7	114 / 13	97 (F 87	5 5 5 5	56 53	2 2 2 2	300,00
10	2017/1/10	20	2017/1/19	32	32	32	32		17				E/7 E/7 E/7	1/1		1/1	5 5 5 5	171
20	2017/1/10	52	2017/1/20		32	-19	83		20	2 2 2 8	2 2 2 8	201 201 201	201 201 201 201	201 201 201 201	201 201 201 201 201 201 201 201 201 201	201 201 201	201 201 201 201	201
20	2017/1/20		2017/1/21		32	-40	103											
21	2011/1/21		2017/1/22		31	-57	119				-	—(ē —	- 予測 —	- 信頼下限	——信頼上	限		
22	2011/1/22		2017/1/23		31	-71	133											
23	2017/1/23		2017/1/24		31	-83	145											
24	2017/1/24		2017/1/25		31	-94	155											
25	2017/1/25		2017/1/26		31	-104	165]		1		1		-	1	1	1
26	2017/1/26		Sheet	2 Sheet	1	(+)												

図 3-15: ワンクリック予測

3.1.3. デザイン / 書式

▶ インクで数式を挿入

数式を手書きすることが出来る機能です。大きな入力枠内に数式を手書きで入力すると、それを読み取りプレビューを上に表示します。読み取られた数式が正しければ、[挿入] ボタンをクリックすることで数式を挿入することが出来ます。

■ 数式入力コントロール	×
$\lim_{\Delta t \to 0} \frac{\Delta s}{\Delta t}$	
\wedge \land	
lim 2 ~	
$\Lambda + \rightarrow \Omega$	
\downarrow \downarrow \downarrow \downarrow \downarrow \downarrow	
<	
	挿入 取り消す

図 3-16:インク数式の手書き入力

3.1.4. 関数

➢ FORMULATEXT 関数

指定したセルに入力された数式を文字列として返す関数です。Excel 2013 から追加された関数で、対象の セルの値が数値や文字列だった場合は #N/A エラーが返されます。

E2		-	:	×	~	fx =FORMULAT	EXT(C2)	
	А	В		С		се	F	G
T								
2			1		6	=SUM(B2:B4)		
3			2		6	=B2+B3+B4		
4			3		6	#N/A		
5								
6								

図 3-17: FORMULATEXT 関数

3.2. Microsoft Word

3.2.1. インターフェース

▶ デザイン タブ

Word 2013 から、[デザイン] タブが新設されました。[デザイン] タブは、Word 2010 で [ページレイアウト] タブにあった [テーマ]、[ページの背景] グループで構成されています。[テーマ] グループは [ドキュメントの書式設定] グループに名称変更されています。

H				文書 1 - Word								-		×
ファイル	ホーム	挿入	デザイン	レイアウト	参考資料	ŧ ž	差し込み文書	校閲	表示	♀ 実行したい作業を入力し	こください	サインイン	ЯĦ	有
<u>東</u> 熱 テーマ 、	表記 RE11.3 RA1470年17月-CLI,次前時 時度成点4-12月15日、2010年17日 みが注意いためです。2010年17日 - 予約回して、高、ッグ・、272 -	表題 現台し1 第41750年9月-0日、日 90時にならて200月15日 (749年1070-15, 086	表題 見出し] main (MAL #29014235-44) or #20000484 three (MB or A0071514951447	表題 2.2 URL1 16.2 BAL27001+21-2 16.5 BAL27001+21-2	表題 1. 200 1. 2007	^{X3111} III17765 7-65.III	表題 <u>Rit 1</u> IRIJ 2704-97-ett, 380 IRIJ 2704-97-ett, 380 Hokkerder 287-550 (7405185-187, 24087 (7405185-187,	表題 見出し1 MAJさか¥+29-CHL 2## RA##CODMYCM#TGARADY	 ▲ ▼ Ξ 		透かし、	く ページの色 マージの背景	し ページ 罫線	*

図 3-18: デザイン タブ

▶ ナビゲーション ウィンドウ

Word 2010 から、文章全体を管理するナビゲーション ウィンドウが追加されました。ドキュメントにアウ トライン レベルが指定されていると、見出しを一覧表示することができます。各見出しの左に表示されてい る黒い三角形をクリックすることで、下階層の見出しの折り畳みや展開を行うことが可能です。これにより文 章構造の把握や、各項目へすばやく移動することができます。また、ページ タブでは、各ページの一覧をサ ムネイル表示することができます。

	Office2016_incompatible_0113_nakanosu.docx - Word 団 イアウト 参考音科 美はみつま 約8 美元 〇 場所で2.7ト		ナビゲーション	- X
R 2 BAC アクトライン R 2 BAC アクトライン R 2 BAC アクトライン Web UTPOト レイアウト Vroh	ルーラー クリッド線 ナビゲーション ウインドウ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		 文書の検索 見出し ページ 結果 	- م
表示 大ビゲーション ▼ × 文書の検索 ♪ ・ 見出し ページ 結果 - 1. はじめに - 2.1. Microsoft Office 2016 の変更点 - 2.1.1. かチモード 2.1.2. 操作アラスト 2.1.3. 共同作業 2.1.4. Office 用アウ 2.1.5. リボク カスタマイズ - 2.2.1. パンターフェース 2.2.2. アカウント 2.2.3. 図形 / 画像の編集 2.2.4. 数式の挿入 2.2.5. 機能追加 2.2.6. セキュリティ	ξπ X-Δ 942 P3 0 4 2 4 0 10 12 14 10 18 20 22 24 20 23 30 32 34 30 34 40 N <td></td> <td><section-header><section-header><section-header><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></section-header></section-header></section-header></td> <td></td>		<section-header><section-header><section-header><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></section-header></section-header></section-header>	
1/20 ページ 8206 文字 印述 英語(米国)	11 II II II	+ 70%	() Offer	

図 3-19: ナビゲーション ウィンドウ

3.2.2. 閲覧機能

▶ 閲覧モード

編集の機能が非表示になる、閲覧に特化したビューモードです。印刷レイアウト表示と異なり、拡大縮小に 合わせて改行位置も調整されます。ページを縮小することで、2つのページを横に並べることもできます。ペ ージ送りは縦方向ではなく、横方向に行われます。

ファイル		表示	Office2016_ incompatible.docx - Word	Ø		×
	内 1. 2. 2. 2. 2. 2.	空 (はじめに <u>Microse</u> 1. <u>Microse</u> 2.1.1.夕: 2.1.2.操 2.1.3.共同 2.1.3.共同 2.1.4.Off 2.1.5. <u>リ</u> 7 2. <u>Micros</u>	Concepto_monipublicate with ft Office 2016 の変更点 soft Office 2016 の新機能	ц.		
画面 3/76	•				+	138%

図 3-20: 閲覧モード

▶ 閲覧の再開

ドキュメントを閉じたときに直前の閲覧場所を記憶する機能です。次回ドキュメントを開いたとき、前回終 了時に閲覧していた場所を表示するかを確認する吹き出しが表示されます。これをクリックすることで、前回 の終了位置から作業を再開することができます。

再開 前回終了した位置から再開します:	ļ
3.2.2. 閲覧機能 数秒前	
	-

図 3-21:閲覧の再開

▶ 共同編集

1つのドキュメントを複数のユーザーで同時に編集できます。クラウド上に保存されているドキュメントを 共有している場合、編集権限を持った複数のユーザーが同時に同一のドキュメントを編集することができま す。

▶ リアルタイム入力

共同編集の機能を用いて複数人で1つのドキュメントを編集しているとき、他のユーザーの作業場所と編集 内容をリアルタイムで確認できます。ドキュメント上に他のユーザーのカーソル位置が表示されているため、 誰がどの場所を編集中なのかを把握することができます。

3.2.3. スタイル

▶ 展開と最小化

見出しの下にある文章や表を折りたたむことができます。アウトライン レベル を設定してあるドキュメン トでは、本文内の見出しにカーソルを合わせると左端に灰色の三角形が表示されます。この三角形をクリック することで、その見出しに含まれるレベルの小見出しや本文が折りたたまれます。また、ドキュメント内で右 クリックメニューから、すべての見出しの折りたたみおよび展開を行うこともできます。

- 概要		
▷• 説明.		
▶・期待される成果と目標。		
▲コース資料↩		
 必須の資料。 		
見出しまたは箇条書きの黒丸が必要ですか? [ホーム] タブのスタイル ギャラリーからは、このシラバスで使われるすべてのスタイルを選択でき す。.	ŧ	
• ここをクリックし、テキストを追加します。		
• ここをクリックし、テキストを追加します。		
• オプションの資料。		
以下のコースのスケジュール表や試験のスケジュール表のような表をドキュメントに追加したいですか? そのような追加はとても簡単に行えます。 す。(挿入) タブで、(表) をクリック」で新し、表を追加します。このテンプレートで作成した新しい表は、その書式に一致するように自動的に		
1		R

図 3-22:展開と最小化

▶ 文字列の素早いスタイル変更

文字を選択し、フォント設定の中から簡単にデザイン効果を適用できます。スタイルを変更したい文字列を 選択し、[ホーム] タブの [フォント] グループから [文字の効果と体裁] をクリックします。表示されるスタ イル例をクリックすると、対象の文字列に適用されます。また、影など各種項目について設定することも可能 です。



図 3-23:文字列の素早いスタイル変更

➢ Opentype 文字体裁

合字やスタイルセットなどの Opentype 文字体裁機能が利用できます。[ホーム] タブ内の [フォント] グ ループもしくは右クリックメニューからフォント ダイアログ ボックスを起動し、[詳細設定] タブから OpenType の機能を設定可能です。

OpenType(合字)	ct st ft fj
TrueType	ct st ft fj

図 3-24: OpenType の機能設定

3.2.4. 図やビデオの操作

▶ ライブ レイアウト

図などの移動時に文章の折り返しがプレビューされます。ドキュメント内の図などの位置を移動させると き、図の動きに合わせて文章がどのような表示になるのかをリアルタイムに表示する機能です。これによっ て、実際に文章がどのような位置で改行されるか等を確認しながら図の配置を決定できます。



図 3-25:ライブレイアウト

▶ 配置ガイド

図などの移動時に本文と余白の境界線などにガイド線が表示されます。画像や図形をドラッグして移動させ るとき、左右の余白位置や段落の先頭行に近づくと、それぞれに合わせて緑色のガイド線が表示されます。ま た上下左右の中心を表す十字の線も表示されます。このガイド線を用いることで、画像や図形をちょうど良い 位置に配置することができます。



図 3-26:配置ガイド

レイアウト オプション ボタン

図を選択すると、図の配置を変更できるボタンが表示されます。対象の図のテキストの折り返し方や、ページ内で図の位置を固定する設定を行うことができるレイアウト オプションを開くためのボタンが図のそばに 表示されるので、素早く図の配置設定を変更することが可能です。

Ç	
C	レイアウト オプション 🗙
	行内
	又字列の折り返し
 インストラクター情報。 マスィート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
【インストラクター名】/ (後子メール アドレス)/ (御所 田田 用日)/ /	
(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	○ 文子がに 相にな ● 動する(<u>M</u>)
・現時にれる構成と目標。 0-10 ページ 723 文字 GF 日本目 哲 0 0 0 0 1 日本目 哲 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
l	<u>詳細表示</u>

図 3-27: レイアウト オプション ボタン

▶ オンライン ビデオの挿入

インターネット接続時にドキュメント内にオンラインのビデオを挿入・再生できます。[挿入] タブの [メディア] グループ内にある [オンラインビデオ] を選択すると、Bing のビデオ検索や YouTube の動画を検索で

きます。ここから検索もしくは埋め込みコードを記述することによって、ドキュメント内にビデオを埋め込む ことが可能です。埋め込んだビデオは、インターネットに接続されている状態ならばクリックすることで再生 可能です。



図 3-28: オンライン ビデオの挿入

3.2.5. パーツ

▶ ヘッダー/フッター パーツ

ヘッダーやフッターにファイルのパス等のファイル情報を挿入できるようになりました。ヘッダーおよびフ ッターを選択して編集状態にし、表示される [デザイン] タブの [挿入] グループ内の [ドキュメント情報] を 選択すると、挿入可能な情報が表示されます。ここから、ファイル名やファイルパスなどの情報をヘッダーや フッターに追加することができます。

 ○ ∧yダ- × □ フyダ- × □ オージ番号 × □ ページ番号 × □ ページ × □ ペ	 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	18 20 22 24 28 30 32 34 38 40 42 44 48 50 52 66 58 60 Image: Second state Image: Second state </th
* *	

図 3-29: ヘッダー/フッター パーツ

3.2.6. 校閲

▶ コメントへの返信

ドキュメントに設定されたコメントに対して、返信コメントを作成することができます。コメントに表示された返信ボタンをクリックすることで、そのコメントにぶら下がる返信コメントを作成することが可能です。

オフィスの場所と営業時間。 [場所、時間、曜日]。	 test 数秒前 表の枠を実線にしたい。 test2 数秒前 太さはどうしますか?)。
	🗊 返信 💙 解決

図 3-30: コメントへの返信

▶ シンプルな変更履歴の表示

変更があった個所において、文章の左端に赤色でマークが表示されます。取り消し線や変更前後の文章が並んで表示されることがないため、読みやすさを損なわずに変更箇所を把握できます。[校閲] タブの [変更履歴] グループ内でシンプルな変更履歴に表示を切り替えることが可能です。



図 3-31:シンプルな変更履歴の表示

3.2.7. プレゼンテーション

オンライン プレゼンテーション ブラウザー上でプレゼンテーションができる機能です。リンクを送信する ことで、作成したドキュメントを参加者と共有します。参加者は送られてきたリンクを元に、ブラウザー上で Word ファイルを閲覧することが可能です。リンクの送信者が Word 上で画面のスクロールを行うと、表示 が参加者のブラウザーに同期されます。そのため、参加者全員が同じ場所を同時に参照することが可能です。



図 3-32:オンライン プレゼンテーション

3.2.8. 削除された機能

▶ カスタム XML マークアップ

Word 2013 以降、カスタム XML マークアップの機能が削除されています。以前のバージョンで作成され たドキュメントを Word 2013 以降で開くと、カスタム XML マークアップを利用できない旨のメッセージが 表示されます。ドキュメントを保存する際に、ドキュメントに記述されたマークアップは削除されます。

▶ プリンター フォントの自動組み込み

Word 2010 以前は、既定のプリンターの追加フォントが自動的にチェックされ、フォントの一覧に含められていました。Word 2013 以降は、パフォーマンス向上のためデフォルトではフォントの自動組み込み機能が削除されています。プリンター フォントの組み込みを行うためには、オプション内で組み込みの有効化を行う必要があります。

▶ 閲覧モードの一部

Word 2013 以降、表示タブ内から全画面閲覧の項目が削除されました。全画面閲覧は、リボンが非表示に なり閲覧に特化した画面構成にする機能でしたが、これに代わって、リボンを表示せず、さまざまな表示設定 でドキュメントを閲覧可能な「閲覧モード」という項目が追加されています。

▶ サポートされていないフォントの種類

新しい Windows プラットフォームへのアップグレードのため、BitmapPrinterAdobe Type 1CFF/Type 2TTO.FON のフォントはサポートされなくなりました。

3.3. Microsoft PowerPoint

3.3.1. インターフェース

▶ 閲覧表示

PowerPoint 2010 から、プレゼンテーションの表示方法に閲覧表示が追加されました。閲覧表示では、ウィンドウ表示でスライドショーを表示再生することが可能です。複数のウィンドウを並べて、異なるスライドショーを同時に実行することも可能です。



図 3-33:閲覧表示によるウィンドウ再生



図 3-34:閲覧表示によるウィンドウ再生

▶ インク注釈

PowerPoint 2016 から、[描画] タブにインク スタイルが追加されました。インク注釈の編集をすることが できます。また、[図形に変換] モードの有効によりインク描画を図形に変換することもできます。



図 3-35:インク注釈

3.3.2. プレゼンテーション

▶ アニメーションのコピー/貼り付け

PowerPoint 2010 から、[アニメーション] タブ - [アニメーションをコピー/貼り付け] から、コピーしたい アニメーションを選択して別のオブジェクトに貼り付けられるようになりました。

デザイン	画面切り替え	アニメーショ	12	८३२४ हेब−		校閲
- + - -	え アニメーショ	ン ウィンドウ		▶ 開始:	クリ	ック時
7-1-2-7	🗲 開始のタイ		└ 継続時	間:	00.50	
アニメーションの追加▼	📩 ए二४–३३	ンのコピー/貼	り付け	🕒 遅延:		00.00
	アニメーションの詩	細設定				夕1

図 3-36:アニメーションのコピー/貼り付け

▶ 画面切り替え

PowerPoint 2010 から、スライドショーの画面切替えに、3-D などの高品質な様々な効果などを施して実 行することができるようになりました。リボンの [画面切り替え] から、使用したい効果を選択することがで きます。



図 3-37: 「画面切り替え」タブ

▶ ビデオの作成

PowerPoint 2010 から、作成したプレゼンテーションからビデオを作成できるようになりました。[ファイル] タブ – [保存と送信] – [ビデオの作成] から、プレゼンテーションを Windows Media ビデオ (.wmv) ファ イルとして保存し、ビデオ映像として再生することができます。

	プレゼンテーション1 - P	owerPoint	サインイン	?	- 0	×
Ð						
情報	エクスボート					
新規	PDF/XPS ドキュメントの作成	ビデオの作	■成			
開く		プレゼンテーション ド、電子メールでの	を、ディスクへの書き込 の送信ができるビデオと	みや Web ^ して保存しま	のアップロー す。	
上書き保存	ビデオの作成	 記録された ク、レーザー 	すべてのタイミング、ナレ ポインターの動きが組	ーション、イン み込まれます	クストロー	
名前を付けて保存		 P=X=9a) Q Z54F %a 	ン、画面切り替え、およ ドデオの DVD への	:びメディアもほ 書きi入みや \	禄されます Veb への	
履歴	③ ハレセンテーション バック	7970-10	カヘルプ			
印刷	配布資料の作成	プレゼ	ンテーション品質		•	
共有		最大:	ファイル サイズおよび	高画質 (19	20 x···	
エクスポート			されたタイミングとナレ	ーションを使り ーションはあ!	もしない)ません	
閉じる		各スライドの所要	時間 (秒): 05.0	¢ 0		
אכטעיע		ビデオの 作成				
フィードバック]			
オプション						

図 3-38:ビデオの作成

▶ 画面録画

PowerPoint 2013 から、画面を録画する機能が追加されました。[挿入] タブ – [メディア] – [画面録画]か ら、録画する範囲を選択し、必要な部分をプレゼンテーションに直接挿入することができます。



図 3-39	:	画面録画
--------	---	------

3.3.3. 文字や図のスタイル

▶ スポイト

PowerPoint 2013 から、スポイト機能が追加され、文字や図形、写真などあらゆる素材の色を抽出することが出来るようになりました。[スポイト] 機能は、塗りつぶしなどの色選択で [スポイト] を選択し、スライド 上にある他の素材の色をクリックすることで利用できます。



図 3-40:スポイト

▶ 図形の結合

PowerPoint 2013 から、[図形の結合] 機能が強化され、[接合]、[型抜き/合成]、[切り出し]、[重なり抽出]、 [単純型抜き] など、複数の図形から新しい図形を作成することができるようになりました。[描画ツール] – [書式] タブから、[図形の統合] をクリックすることで利用できます。



図 3-41:図形の結合

▶ ガイド

水平方向、垂直方向に基準となるガイド線は、PowerPoint 2013 から、さまざまな機能が追加・改善されま した。たとえば、[表示] タブ – [マスター表示] – [スライド マスター] からレイアウトごとにガイドの設定を 行い、ガイドを設定することで、同一レイアウトを適用したスライドの共通のガイドとして利用することがで きます。

🖬 ५ व 👳 =	プレゼンテー	≫∃>3 - PowerPoint	サインイン 国 -	o x
ファイル ホーム 挿入	ごけん。 (本市村)の社会 マーメート・	1: スライド ショー 校閲	表示 🛛 操作アシスト	A. 共有
E		ノート ズーム ジィンドウ サイズ に合わせる ズーム	カラー/ グレースケール * マクロ	^
1				
2	タイトルを入こ	b		
	テキストを入力			
				*
スライド 2/2 口2 日本語	≜ <i>J</i> −I	:	▣ 〒	+ 53% 🕀

図 3-42:ガイド

▶ 文字のクイック スタイル

PowerPoint 2013 から、文字を選択して簡単にデザイン効果を適用できるようになりました。デザイン効果 は、[書式] タブ – [クイック スタイル] から選択することができます。

3 - Pc	owerPoint		描画ツール					
a>	スライド ショー	校閲	表示	走書	♀ 実行l	<i>」</i> たい作業を	入力してくだ	さい
Abc	 ▲ 図形の ▼ 図形の ▼ 図形の ▼ 図形の 	塗りつぶし ▼ 枠線 ▼ 効果 ▼	Α	Α	A	A	Α	
形のスタ	จ้าน	г	A	A	A	A	Α	R
			A	A	A	A	A	
1.	タイト	ル	A	A	A	A	A	
•	テキスト	,	···· 🍖 :	ጋードアートのク	ישר <u>(C</u>)			.:
\diamond	ኇ፟፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፝፝፝፝፝፝፝፝፞፞	•						
\diamond	テキスト	•						

図 3-43:文字のクイック スタイル

▶ ワードアートの文字色に画像を適用

PowerPoint 2013 から、ワードアートで作成した文字列に写真の画像を設定することができるようになりま した。[書式] タブ – [文字の塗りつぶし] – [画像] から、写真の任意な位置を文字に設定することができま す。



図 3-44: ワードアートの文字色に画像を適用

3.3.4. Excel グラフの挿入

▶ チャート エンジン アクセス

PowerPoint 2013 から、Excel グラフ形式を損なわずに任意のスライドへ挿入できるようになりました。挿入後に挿入元の Excel グラフが変更された場合でも挿入した Excel グラフが自動で変更されるよう設定できます。



図 3-45 : Excel グラフ

3.3.5. メディアの挿入と操作

▶ ビデオ・オーディオの埋め込み編集と書式設定

動画を埋め込む形式には、メディアファイル本体とリンク先の 2 種類があり、PowerPoint 2010 から、メディアファイル本体を埋め込んだメディアを直接編集できるようになりました。[挿入] タブ – [メディア] - [ビデオ] または [オーディオ] から、メディアの挿入および操作を行うことができます。

·				ゼンテーション1 -	PowerPoint		描画ツール					- 6
Г	挿入	デザイン	画面切り替え		२५४१ ३व− १	校闘 表示	書式	♀ 実行	したい作業を入力してください			\$
			\square		🗎 ストア		. 🗶	t	A 📮	πΩ		
ン通	/ライン スク 画像 ショ	ハーン フォト ョット * アルバム	図形 Sr	martArt グラフ	🎝 個人用アドイン 🔹	ズーム ハイパー	リンク 動作	コメント	テキスト ヘッダーと ワード ポックス * フッター アート *	数式 記号と * 特殊文字	ビデオ オーディオ	画面 録画
	画像			×	アドイン	リン	ク	コメント	テキスト	記号と特殊文字	メディア	

図 3-46:メディアの挿入と操作

▶ ビデオ・オーディオのコントロール

PowerPoint 2010 から、スライドショー中にコントロールバーでメディア再生を制御できるようになりました。[ビデオツール] – [再生] タブ – [編集] – [ビデオのトリミング] から、開始時間と終了時間、明るさや色味の変更などさまざまな効果を加えることができます。

ビデオのトリミング		? ×
20170104143756		継続時間: 01:55.793
Excel 最近使ったドキュメント	新現作成 电H Continue - Wandows H Repline -	84.45
EVA Moxt Moxt	です。 ッアー を開始	
 Bert (1:1) and these inclusions are associated. Bert (1) Bert (2) Bert (2) Bert (2) and the associated are associated are associated. 		
Installing The All The All	22/04/h 22/11/	A CONTRACT OF CONTRACT
		Contraction of the second seco
		02:33.432
00:37.639 单 開始時間(<u>5</u>)	◄I ► I►	02:33.432 終了時間(<u>E</u>)
		OK キャンセル

図 3-47:ビデオ・オーディオのコントロール

▶ オンライン ビデオの挿入

PowerPoint 2010 から、Web サイト上にあるビデオの URL をスライド内に挿入し、ビデオ再生を実行でき るようになりました。[挿入] – [ビデオ] – [オンライン ビデオ] をクリックすることで、Web ブラウザーを開 くことなくビデオの URL をスライドに挿入することができます。

タイ テキスト	・サイト伝表 YouTube https://www.youtube.com/wetch? v=ESYCPUX091 0時無結果は1件です werdson	<
	Word: オンライン上のビデオを挿入しよう アイテムが 1 つ選択されています。 挿入 キャンセル 日本マイクロソフト株式会社 公式チャー・・	
	anan s	

図 3-48: オンライン ビデオの挿入

3.3.6. 校閲とスライド管理

▶ コメント機能の強化

PowerPoint 2013 からコメントの機能が強化され、コメントへの返信をしたり、コメントを処理したりできるようになりました。詳細について、下記に説明します。

● コメントへの返信

[校閲] タブ - [コメントの表示] - [コメント ウィンドウ] から、コメントに対する返信ができるようになり ました。関連するコメントがひとまとまりになり、いつ誰が返信したのかを簡単に把握することができます。



図 3-49: コメントへの返信

● コメント処理

[校閱] タブ - [コメントの表示] - [コメント ウィンドウ] から、コメントを折りたたんだり、特定のコメントや返信を削除したりすることができるようになりました。

אכאב	<i>▼</i> X
♡新規	ت ا
test2 動画追加しました	(2 件の返信)
test2 タイトルの変更案について	(1 件の返信)
✓ test3 2 分前 提出期限がせまっていますので- い。	★ −旦確認させてくださ
返信	

図 3-50:コメント処理

▶ セクション機能

PowerPoint 2010 からセクション機能が追加され、ファイルをフォルダーに整理するような要領でスライド を整理できるようになりました。名前付きのセクションを使用することで、スライドのグループを管理した り、仕事仲間にセクションを割り当てて、共同作業時の所有者を明確にしたりすることができます。セクショ ンを追加するにはスライドを選択し、[ホーム]-[スライド]-[セクション] から、[セクションの追加] をクリ ックします。



図 3-51:セクション機能

▶ 比較と反映機能

PowerPoint 2010 からファイルの比較機能が追加され、メインのプレゼンテーション ファイルと他プレゼ ンテーション ファイルとの比較を行い、一つのプレゼンテーションにマージすることができるようになりま した。ファイルの比較を行うには、[校閲] タブ – [比較] から、比較するファイルを選択します。



図 3-52:比較と反映機能

3.3.7. アスペクト比

▶ ワイド画面 (16:9)

PowerPoint 2013 から、規定のスライドのサイズは、ワイド画面 (16:9) に変更されました。ただし、4:3 やユーザー定義のサイズにスライドのサイズを変更できます。さらに、多様な一般的な用紙サイズやその他の 画面要素に合わせて、スライドのサイズを設定することもできます。スライドのサイズを変更するは、[デザ イン] タブ – [ユーザー設定] – [スライドのサイズ] – [ユーザー設定のスライドのサイズ] をクリックします。

スライドのサイズ	? ×
スライドのサイズ指定(<u>S</u>): ワイド画面 ✓ 幅(<u>W</u>): 33.867 cr ÷ 高さ(<u>H</u>): 19.05 cm ÷ スライド開始番号(<u>N</u>): 1 ÷	印刷の向き スライド 〇 縦(P) ④ 横(L) ノート、配布資料、アウトライン ● 縦(Q) 〇 横(A) OK キャンセル

図 3-53:スライドのサイズ

図 3-54: ユーザー設定のスライドのサイズ

3.3.8. 保存形式

▶ 画像化プレゼンテーションとして保存

PowerPoint 2010 から、プレゼンテーションを PowerPoint 画像化プレゼンテーション [*.pptx] として保存 できるようになりました。これにより、アニメーションなどの情報は削除されますが、各スライドが図として 保存され、ファイルサイズをかなり小さくすることができます。

₽3 名前を付けて保存					×
← → ~ ↑	> PC > ドキュメント > Data	ٽ ~	Dataの検索	ş	D
整理 ▼ 新しいフォノ	ルダー				?
PC	^ 名前	^	更新日時	種類	
🕹 ダウンロード		検索条件に一致する項目	はありません。		
📃 デスクトップ					
📑 ドキュメント					
📰 ピクチャ					
📕 ビデオ	v <				>
ファイル名(N): フ	プレゼンテーション(画像化).pptx				~
ファイルの種類(T): P	owerPoint 画像化プレゼンテー?	ション (*.pptx)			~
作成者: t	test2	タグ: タグの追加	1		
▲ フォルダーの非表示		ツール(L) ▼	保存(S)	キャンセル	

図 3-55:画像化プレゼンテーションとして保存

削除された保存形式

PowerPoint 2013 から、PowerPoint のファイルを Web ページとして保存し、HTML で表示する機能が削除されました。[名前を付けて保存] の選択可能なファイル形式リストから、HTML ファイルが削除されています。代替手段として、OneDrive 上に PowerPoint ファイルを保存すると、そこでビューワーを利用することが可能です。

	PowerPoint プレゼンテーション (*.pptx)
	PowerPoint マクロ有効プレゼンテーション (*.pptm)
	PowerPoint 97-2003 プレゼンテーション (*.ppt)
	PDF (*.pdf)
PowerPoint プレゼンテーション (*.pptx)	XPS 文書 (*.xps)
PowerPoint マクロ有効プレゼンテーション (*.pptm)	PowerPoint テンプレート (*.potx)
PowerPoint 97-2003 プレゼンテーション (*.ppt)	PowerPoint マクロ有効テンプレート (*.potm)
PDF (*.pdf)	PowerPoint 97-2003 テンプレート (*.pot)
XPS 文書 (*.xps)	Office テーマ (*.thmx)
PowerPoint テンプレート (*.potx)	PowerPoint スライド ショー (*.ppsx)
PowerPoint マクロ有効テンプレート (*.potm)	PowerPoint マクロ有効スライド ショー (*.ppsm)
PowerPoint 97-2003 テンプレート (*.pot)	PowerPoint 97-2003 スライド ショー (*.pps)
Office $\tau - \vec{v}$ (*.thmx)	PowerPoint アドイン (*.ppam)
PowerPoint スフィト ショー (*.ppsx)	PowerPoint 97-2003 アドイン (*.ppa)
PowerPoint マクロ有効スプイド ジョー (*.ppsm) PowerPoint 97-2003 フライド ショー (*.pps)	PowerPoint XML プレゼンテーション (*.xml)
PowerPoint アドイン (* nnam)	MPEG-4 ビデオ (*.mp4)
PowerPoint 97-2003 アドイン (* ppa)	Windows Media ビデオ (*.wmv)
PowerPoint XML プレゼンテーシ(=>/=>/ (* yml)	GIF グラフィックス交換形式 (*.gif)
単一ファイル Web ページ (*.mht;*.mhtml)	JPEG ファイル交換形式 (*.jpg)
Neb ページ (*.htm:*.html)	PNG ポータブル ネットワーク グラフィックス形式 (*.png)
GIF グラフィックス交換形式 (*.gif)	TIFF 形式 (*.tif)
JPEG ファイル交換形式 (*.jpg)	デバイスに依存しないビットマップ (*.bmp)
PNG ポータブル ネットワーク グラフィックス形式 (*.png)	Windows メタファイル (*.wmf)
TIFF 形式 (*.tif)	拡張 Windows メタファイル (*.emf)
アバイスに依存しないビットマッフ (*.bmp)	アウトライン/リッチ テキスト形式 (*.rtf)
Windows メダブアイル (*.wmt)	PowerPoint 画像化プレゼンテーション (*.pptx)
払扱 WINDOWS メタフアイル (^.emt) フロトラインバルッチ ニキフト形式 (*.emt)	完全 Open XML プレゼンテーション (*.pptx)
アントプロン/ソジテ ノイストルシス (*.10) OpenDecument プレゼンテーション (*.edp)	OpenDocument プレゼンテーション (*.odp)
OpenDocument / Do / - / a/ (.odp)	





3.4. Microsoft Outlook 3.4.1. インターフェース

▶ 自動検出

Outlook 2016 では、初期設定のプロファイルを作成時、メールサーバーの設定に Exchange を選択した 後、サーバーの自動検出の構成が必要となります。構成しない場合、Exchange Server に接続することができ ません。

アカウントの追加	
7555>1 94703¥R →	
@ Office 365(F)	
Office 365 アカウントの目動設定	メール サーバーの設定を探しています
x−#/7Fb/Z(E):	
○ POP IELI IMAP(P)	構成中
POP または IMAP 電子メール アカウントの評相投定	
© Exchange ActiveSync(A)	アカウントの設定を行っています。この処理には数分かかることがあります。
Exchange ActiveSync を使用するサービスの詳細設定	✓ ネットワーク接続を確立しています
◎ ₹の他(O)	→ testuser1@usr.comの設定を探しています
以下の一覧に示されている種類のサーバーに接続します	メール サーバーにログオン
Fax Mail Transport	
< 戻る(B) 次へ(N) > 「キャンセル」 ヘルプ	

図 3-58:アカウント作成(追加) 図 3-59:サーバー構成中

▶ Exchange ファスト アクセスと同期スライダー

Outlook2013 から、Exchange キャッシュ モードが追加されました。Exchange ファスト アクセスと同期 スライダーは、Exchange キャッシュ モードの新機能です。これらの機能は Exchange キャッシュ モードを 有効にすると、既定で有効になります。

Outlook 2016 を最初に起動すると、最新の電子メール メッセージと、最新の予定表がすぐに表示されま す。Outlook 2016 は、オフラインで使用するアイテムをバックグラウンドでキャッシュするため、ユーザー の操作が中断することはありません。

• Exchange ファスト アクセス

Exchange ファスト アクセスは、オンライン モードのインスタントアクセスと、Exchange キャッシュ モードのオフライン機能および信頼性の高い同期機能とを組み合わせた機能です。データをローカルで同期 するために、初回同期時、作業再開時、休暇明けなどに時間がかかってしまうユーザーへの対策で、初期起 動した場合、最新の電子メール メッセージと、最新の予定表がすぐに表示されます。

オフラインで使用するアイテムをバックグラウンドでキャッシュするため、ユーザーの操作が中断することはありません。

● Exchange キャッシュ モードの同期スライダー

オフラインで Exchange キャッシュ モードを使用して作業している場合、メールの保持期間には新しい 下記のオプションがあります。

- 3日間
- 1週間
- 2週間



図 3-60:アカウント設定の変更時 (オフライン)



3.4.2. アーカイブ機能

ワンクリック アーカイブを使って、受信トレイにあるメッセージを [保存フォルダー] に簡単に移動できます。



図 3-62: Outlook 2016 のアーカイブ機能

3.4.3. クラウド添付

[メッセージ]-[ファイルの添付] から、OneDrive または SharePoint を使って、メールの受信者とドキュメ ントを共有することができるようになりました。

日 ち (び ↑ ↓ =	ファイルを共有します - メッセージ (HTML 形式)
ファイル	メッセージ 挿	入 オブション 書式設定 校開 💡 実行したい作業を入力してください
トレージョン 「「「「」」」 「「」」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」	切り取り コピー 着式のコピー/貼り ルプボード	
	宛先	
1	C C (<u>C</u>)	
送信(<u>S</u>)	件名(<u>U</u>)	ファイルを共有します
	添付ファイル(工)	ConeDrive を使い始め… すべてのユーザーが編集…
ų		

図 3-63 : Outlook 2016 のクラウド機能

3.4.4. 削除済みアイテムの復元

Outlook 2016 では、メールボックスから誤ってアイテムを削除してしまっても、多くの場合に復元すること ができます。復元するには、まず [削除済みアイテム] フォルダーを探します。そこで見つけることができなか った場合、[回復可能なアイテム] フォルダーを探します。このフォルダーには、[削除済みアイテムを復元] ツ ールを使ってアクセスできます。

▶ 削除済みアイテム フォルダー内にあるアイテムを復元

メールフォルダーの一覧に移動し、[削除済みアイテム]フォルダー内のメッセージを任意のフォルダーへ 復元することができます。



図 3-64: Outlook 2016 削除済みアイテム復元

▶ 削除済みアイテム フォルダー内にないアイテムの復元

[削除済みアイテム]フォルダーでアイテムが見つからない場合、 [回復可能なアイテム]内のメッセージを 任意のフォルダーへ復元することができます。このフォルダーは非表示となっており、次のいずれかの操作を 実行したときにアイテムはこのフォルダーへ移動されます。



図 3-65:復元可能なアイテムの復元

図 3-66: 復元操作後の削除済みアイテムフォルダー

3.4.5. メモと履歴のカスタマイズ

Outlook 2016 では、メモの使い方が簡素化され、黄色と標準サイズのみとなりました。また、[Outlook のオプ ション] では、[メモと履歴] が削除されました。

▶ 履歴

履歴は新しいナビゲーション バーのリボンには表示されません。履歴のための既定の特別なフォルダー は、現在も存在しており、フォルダー ウィンドウの [フォルダー] ビューから選択できます。既存の [履歴] フォルダーは、フォルダー ウィンドウの [フォルダー一覧] ビュー内に表示されます。[Outlook のオプショ ン] では、[メモと履歴] が削除されました。[履歴オプション] と、関連ダイアログ ボックスは使用できなく なりました。履歴機能は常に無効です。

▶ メモ

メモはリボンまたは新しいナビゲーション バーには表示されません。メモのための既定の特別なフォルダーは、現在も存在しており、フォルダー ウィンドウの [フォルダー] ビューから選択できます。既存の [メモ] フォルダーは、フォルダー ウィンドウの [フォルダー一覧] ビュー内に表示されます。新しいメモの既定の色は黄色で、既定のサイズは中、既定のフォントは 11 ポイント Calibri で、メモが最後に変更された日時が表示されます。

✓ ₹ - Microsoft Outlook			
ファイル(E) 編集(E) 表示(<u>V</u>) 移動(G) ツール(T) アクション(<u>A</u>) ヘルプ(<u>H</u>)		
🔜 新規作成(N) 🔸 🌲 🗎	X 🔡 🔤大きいアイコン(B) 🖫 小さいアイコン(M) 翻一覧(L) 💷		
🧐 🎯 戻る(B) 💿 🚺 🛛			
🕞 Skype 会議(S) 💂			
» J£	JK 📓		
🔎 すべてのメモ アイテム 🔫			
個人用のメモ			
	-		
新しいグループの追加			
現在のビューの編集…			

Outlook のオプション



図 3-67 : Outlook 2007 のメモ



3.4.6. 天気予報バー

п

Outlook2013 から、予定表に天気予報を追加できるようになりました。 [ファイル] - [Outlook のオプション] - [予定表] タブから、 [天気] オプションの [予定表に天気予報を表示する] にチェックを入れ、華氏または摂氏を選択し [OK] をクリックすることで設定します。

予定表モジュールの予定表には明日から 3 日間の気象情報が表示されます。Outlook 2016 をインストール した後、初めて起動したときに表示される気象情報は、インストールした Outlook のマーケット バージョン に既定で設定されている都市の天候です。天気予報の場所を変更するには、[予定表] ビューの都市名の横にあ るドロップダウン メニューから [場所を追加] を選択します。

□ グループスケジュールに空き時間として公開されている予定を表示する(乂)	
受示する予定表の数が次の数以上になったら、縦レイアウトからグループスケジュールに自動的に切り替える(A): 5 こ	
☑ 表示する予定表の数が次の数以下になったら、グループスケジュールから縦レイアウトに自動的に切り換える(≦): 1	
タイムゾーン	
a hilling	
▲ タイムリーン(T): (UTC+09:00) 大阪 非尾 東京 ▼	
□ 予定表に別のタイム ソーンを追加表示する(D)	
タイトル(」):	
タイム ソーン(I): (UTC-12:00) 国際日付変更線 西側 ▼	
タイム ゾーンの切り替え(S)	
スケジュール アシスタント	ファイル ホーム 送受信 フォルダー 表示 🛇 実行したい作業を入力してください
→ ジ 予定表の詳細をポップアップ とントに表示する(P)	
□ 予定表の詳細をスケジュール設定グリッド内に表示する(Q)	
白動承诺志比は採現	新しい 新しい 新しい 新しい 今日 今後 個人用の 日 稼働日 遅 月 グループ 予定表を 予定表 予定表を 予定 会議 アイテム・Skype 会議 7日間 予定表 スケジュール 聞く・グループ・電子メールで決
	新規作成 Skype 会議 移動 n 表示形式 n 予定表の管理
会議出席依賴を目動的に承認または辞選します。 目動承諾/部選(A)	4 2017年1月 → 4 ▶ 2017年1日24日 Hawaii National Park Zylid ▼ /** 今日
天殇	日月火水木金土
	25 26 27 28 29 30 31 予定表 - Outlook × 中 予定表 -
表示药温度:	1 2 3 4 5 6 7 火曜日 火曜日
 · - 現氏(1) · · ·	8 9 10 11 12 13 14 24日 友引 24日
○ 華氏(E)	15 10 1/ 18 19 20 21
	「パーブカウコールを空き物理とび 記処されている学生で表示する(2) ② 表示する学者の思いの意味によったも、続いてクリカウコームの目前的に切り組える(2): 5 : 2 ② 表示する学者の思いの意味になったも、続いてクリカウコームの目前的に切り組える(2): 1 : 2 ジイムリーン ジイムリーン ジイムリーン ジイムリーン ジイムリーン ジイムリーン ジイムリーン ジイムリーン ジーン ジイムリーン ジーン ジイムシーン ジーン ジーン <t< td=""></t<>

図 3-69:予定表の天気設定

図 3-70:天気予報バー表示

※ 2017 年 1 月現在、場所に日本を指定すると、誤った日付が返され、天気予報バーが表示されない不具 合があります。

3.4.7. People ハブ

Outlook 2016 では、連絡先情報に People ハブ機能が追加され、以下の機能ができるようになりました。
- 受信者の連絡先情報の写真または画像
- 人物情報ウィンドウに表示される直近のメール、添付ファイル、会議の情報

解存して 制除 開た の CneNote	作成 * 📑 📑 詳細 📑 すべ 全般 🖇 証明書	1074-ルド 電子 会議 その他 メール	●●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●●	名利 画像		О <i>х-ь</i>
アウション	表示 test	コミュニケー5/8ン user1	名前	オプション	95	X-4
姓(G) /名(M)	test	user1			iser i test	
動務先(P)			_	12-		
部署(A) /役職(T)						
表願(E)	test, user1		*			
インターネット				Xt		
▼ ×− <i>1</i> , •				41		
表示名(I)						
Web ページ(W) /IM(R)						
電話番号						
勤務先電話 ▼		自宅地話 ▼				
勤務先 FAX マ		携带電話 ▼				
住所						
勤務先住所 👻		郵送先会	主所に使用する(R)			
郵便番号(U) /都送府闆(D)						

ファイル 連絡先	押入	書式設定	崖 枝	161 S	? 実行した	い作業を入力し											
保存して 前岸 風。 775	保存して新規 転送。 OneNote コン	भारत -	上 全釈	 日詳細 2 証明書 	□ すべ # 表示	てのフィールド	電子メール	会議 会議	2018 2018	PFL28	※ 名前の 確認 前	名前 オブ	() 画像 ション	分類	ト フラグの 設定・ タグ	● 罪公開	C
フリガナ(V)	7	test				user1						i [user1	test		
姓(G) /名(M)		test				user1											
部署(A) / mema(表頭(E) インターネット 回メール 表示名(1)		test, i	user1			 新し 最近表示し デスクトッ 	パブリッ いフォル 小た場所 1プ	クのビ: ダー	クチャ ピ サン	・サンプ) クチャ	レビクチ ・ ライ ッチャ	ァ・ ブラリ	•	6 ₽] [サ	ンプル と 並べ替え	205то El • t: Эл	の検索 E
Web ページ(W) 电話番号 動務先業話	/IM(R)	_		_		ダウンロー = ノゴーい	۴					N.M.	222				
動務先 FAX	*				6	Git								2		1	-
動務先住所	-				6	ドキュメン	1			DBEntry		菊.jpg		砂漠	jpg	75	244
郵便番号(U) /都 市区町村(Q)	道府闾(D)			_	8	』ビクチャ ■ ビデオ ♪ ミュージッ	0			1	a	No.	R.			12	1

図 3-71:連絡表情報

図 3-72:連絡表情報の写真追加

3.4.8. 削除された機能

ここでは、Outlook 2016 で削除された機能について説明します。

Exchange Server $\forall r = k$

Outlook 2016 は、Exchange Server 2007 への接続をサポートされなくなりました。

Outlook Social Connector

LinkedIn、Facebook、および他のソーシャル メディア サイトへのアクセスは削除されました。

▶ 人物情報ウィンドウ

[人物情報ウィンドウ] は既定でオフになっています。また、[アカウントの設定] オプションも削除されました。

▶ RTF ファイル

Outlook 2016 では、自動検出を使用すると、アカウントはアカウント ウィザードで自動的に構成されるため、PRF ファイルは機能しなくなり、削除されました。

➢ Outlook の会議ワークスペース

会議ワークスペース機能が Outlook から削除されました。会議ワークスペースを作成するためのエントリ ポイント コマンドは、クイック アクセス ツール バーとリボンの両方から削除されています。

➢ Outlook Exchange クラシック オフライン

オフライン モードは Outlook から削除されました。Exchange Server アカウントは、オンラインで使用す るか、または Exchange キャッシュ モードで使用できます。

Outlook RPC over HTTP

Outlook Anywhere が RPC テクノロジに依存しているために発生する複雑さを排除するため、Outlook 2013 から MAPI over HTTP が導入されました。

➢ Outlook の直接予約

予定表でのリソースの直接予約は削除されました。

アプリケーションへのインポート/エクスポート

Outlook のインポート/エクスポート ウィザードから特定のファイル形式のサポートがされなくなりました。

● 履歴 (ジャーナル) モジュールとジャーナリング

トップレベル モジュールとしての履歴モジュールは削除され、自動ジャーナリングも削除されました。

● 以前の連絡先リンク

Outlook の任意のアイテムを連絡先にリンクする機能は削除されました。

Outlook Mobile Service (OMS)

テキスト メッセージの送受信に使用される Outlook Mobile Service プロトコルのサポートがされなくなりました。

● 連絡先候補

クリーン インストールでは、連絡先候補が利用できなくなり、フォルダーは作成されず、連絡先候補ア イテムも作成されません。

● Outlook Pubcal: 予定表公開

予定表を Office.com に公開する機能が削除されました。

● Outlook/Exchange の PST への配信

Outlook データ ファイルの作成時に、Outlook 97-2002 データ ファイル (*.pst) オプションは使用でき なくなりました。この変更は、アジア言語のための代替表示名をサポートするために使用される ANSI オ フライン Outlook データ ファイル (.ost) の自動作成には影響しません。

● ダイヤルアップ/VPN オプション

[送受信] タブの [ユーザー設定] - [ダイヤルアップ接続]、[Outlook オプション] の [詳細] - [ダイヤルア ップ接続] セクションは削除されました。Exchange Server のアカウントを変更する場合、[設定の詳細表 示] により [Microsoft Exchange] ダイアログ ボックスが開きます。[接続] タブは削除され、[接続] タブで アクセスできた [外出先で Outlook を使う] 設定は、[全般] タブに表示されるようになりました。

3.5. Microsoft Access

3.5.1. インターフェース

▶ アプリケーションパーツ

Access 2010 から、[作成] タブにアプリケーション パーツが追加されました。

アプリケーション パーツを使用すると、既存のデータベースに機能を簡単に追加できます。アプリケーション パーツはデータベースの一部を構成するテンプレートで、たとえば、Tasks アプリケーション パーツを データベースに追加すると、Tasks テーブルと Tasks フォームを利用できるようになり、さらにテーブルをデ ータベース内の別のテーブルに関連付けることができるようになります。

🖬 5× 0× +			Database11:データベース- C:¥
ファイル ホーム 作成 外部データ	データベース ツール	フィールド テープル	♀ 実行したい作業を入力してくださ
	クエリ クエリ クイザード デザイン 回 クェリ フォ クェリ フォ 道行中の簡潔リスト 回 ID クリック (新規)	■ <u> </u>	オーム ウバザード ビゲーション・ の他のフォーム・ レポート レポート ロボート アザイン レ レポート
▲ 顧客詳細 ▲ 顧客住所録			

図 3-73:アプリケーションパーツ

▶ 外部データ

Access 2013 から Access デスクトップ データベース、Microsoft Excel ファイル、ODBC データ ソース、 テキスト ファイルに加え、SharePoint リストからデータをインポートできるようになりました。

高い管理:データベース (Access 2007) -	ファイル ホーム 作成 外部データ データベース ツール 💡 実行したい作業を入力してください
ホーム 作成 外部データ データバース ツール	
	保存済みの リンクテーブル Excel Access ODBC インボート操作 マネージャー データベース マモの他 エクスボート操作 ファイル ファイル XPS
「米仔酒のの」 Hocess Excel ShareFort リスト インボード操作 リスト メアシー ログスボード操作 リスト XPS 町 その他 マ の作成	インボートとリンク エクスボート エクスボート
インボート ODBC データベース(C) エウスボート データの SOL Server などの 0DBC データ	商談管理ナビゲ ⊙ « 3 進行中の US SharePoint Jストをイン ポートまたはリンクします
セキュリティの警告 データベースの一部の エーム ペースを1 ンボートを広却ンクします THIL ドキュメント(H) THIL THIL	<u>検索</u> ア 川川 データサービス(T)
※ 通行中の商談リスト ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
進行中の商 🚚 Outlook フォルタ60/ Outlook フォルタを1ンポートまたは	
リンクルます 一切 人 海豚(10) 雷子メールによろす	# 社員詳細 * (新規) ● → HTML ドキュメントをイン
dBASE ファイルをインボートまたはリ ・	★目 社員住所録 ポートまたはリンクします
* (新規) Paradox ファイル(P) 中	▲ 社員電話帳 Outlook フォルダー(Q)
来町 0 Px Paradux ファイフレター1ノハーFsJCla	▲ 予測一覧表(社員別) ▲ Pill Outlook フォルターをイン ポートまたはリンクします
Lotus 1-2-3 ファイル(L) 123 Lotus 1-2-3 ファイルをインボートし	顧客
8	, 画 顧客詳細
6	III III III III III III III III III II

図 3-74: Access 2007 の外部データ

図 3-75: Access 2016 の外部データのその他

3.5.2. テーブル テンプレート

Access 2013 ではテーブル テンプレートが追加されました。テーブル テンプレートを使用すると、アプリに テーブルをすばやく追加できます。タスクを管理する場合は、タスク テンプレートを検索してクリックしま す。

テンプレートの横にマルチ テーブル インジケーターが表示されている場合は、よく使用される関連テーブル が自動的に追加されるので、すぐに本格的なリレーショナル データベースを使用することができます。Access では、関連テーブルのデータを表示するビューがテーブルごとに作成されます。

3.5.3. 外部リンクされているデータソース情報を Excel にエクスポート

外部リンクされているすべてのデータソースのリストを、Access データベースアプリケーションから Excel ヘリストを作成することができるようになりました。

□ リンク テーブル マネージャー	×
リンク先を更新するテーブル(工):	
✓ →図 cost (C:¥DB¥仕入表,xisx¥'1月\$')	UK
IM →函 sales (C:¥DB¥元上表.XISX¥1月\$)	キャンセル
	すべて選択(<u>S</u>)
	すべて解除(<u>D</u>)
	Excel にエクスポート (E)
✓ リンク先を更新するためのプロンプトを毎回表示する(A)	

図 3-76:外部リンクデータソースを Excel にエクスポート

3.5.4. データベース テンプレートのルック アンド フィール

Access2016 では、最も人気の高かった5 つのデータベーステンプレートのルック アンド フィールがより現 代的に再デザインされました。これらのテンプレートは [ファイル] タブ - [新規] で確認できます。

- 連絡先管理 •
- 資産管理
- イベント管理
- 生徒名簿
- タスク管理





図 3-77 : Access 2007 のテンプレート

	資産リスト							
新しい資産(N) 電子メールによるき	データ収集(⊻)) リストオ	を電子メー	ルで送	信(匠) レポ		():
┛ ID → 米 <u>(新規)</u>	品目	→ 区((1) 区	分 , 【分	状態 (2) 良	*	場所	•	所
集計		0						

図 3-78: Access 2016 のテンプレート

==	資産リスト						
	資産リスト						
	🏷 新し	、資	産(N) 🖭 電子メール リスト(E)	💵 連絡先り	スト(<u>C</u>)	4	表示/
	開く	w	項目	分類	状態	w	場所
*	<u>(新規)</u>			(1) 分類	(2)良		

図 3-79 : Outlook 2007 の資源管理テンプレート 図 3-80 : Outlook 2016 の資源管理テンプレート

3.5.5. [テーブルの表示]ダイアログの拡大表示

Access 2016 では、[作成]タブ - [クエリ] - [クエリデザイン] をクリックすると、[テーブルの表示] が表示されるようになりました。また、[テーブルの表示] ダイアログの既定の高さが拡大され、データベースのより多くのテーブル名やクエリ名が、簡単に確認できるようにしました。

テーブル クエリ 両方			~
Cost sales テーブル1 ユーザー 寄件 顧客 社員 社員 社員 社員 社員 支持 市前該 工作		テーブル クエリ 両方 cost sales 副客 観客(広張) 社員 社員 社員(広張) 社員(広張) 社員(北京) 社員(北京) 社員(北京) 社員(北京)	
商設 <u>追加(A)</u> 閉じる(C)	•	進行中の函設(153番) 予測/9720元データ	

図 3-82 : Access 2016 のテーブル表示

図 3-81 : Access 2007 のテーブル表示

3.5.6. データのテキスト型とメモ型

▶ テキスト型

テキスト型は "ショート テキスト" という名前に変更されました。また、既定の文字制限は 255 ですが、 フィールドのプロパティで 4000 まで増やすことができるようになりました。

▶ メモ型

メモ型は "ロング テキスト" という名前に変更されています。デスクトップ データベースのロング テキ スト フィールドには最大でおよそ 1 GB、Access アプリでは最大 2 の 30 乗 -1 バイトのデータを格納でき るようになりました。

3.5.7. 削除された機能

ここでは、Access 2016、Access 2013 で削除された機能について説明します。

Access 2010 web データベースの作成

Access 2010 から、Web データベースを構築し、SharePoint サイトに公開できる Access Web データベー スが導入されました。SharePoint から、Web ブラウザーでデータベース アプリケーションを使用できるよ うになりました。Access 2016 では、既存の Access 2010 Web データベースを開いたり、設計および公開し たりすることができますが、新たな Access 2010 Web データベースを作成することはできません。

▶ Access データ Project (ADP)データのサポート

Access データ Project ファイルを開く機能が削除されました。

➤ Jet 3.x IISAM の Access サポート

Jet 3.x IISAM ドライバーが使用できなくなったためにサポートがされなくなりました。

ADP の代替方法を次に示します。

- ADP を Access アプリ ソリューションに変換する。
- ADP をリンクされた Access デスクトップ データベースに変換する。
- ADP を完全な SQL 対応ソリューションに変換する。
- オブジェクトを ACCDE ファイルにインポートした後、Access の旧バージョンを使用して、既存のデータ に対するリンク テーブルを作成する。
- ピボットグラフ、ピボットテーブルを作成オプション

ピボットグラフとピボットテーブルを作成するためのオプションが削除されました。

▶ dBASE サポート

Office Web コンポーネントがサポートされなくなったため、dBASE サポートも削除され、ユーザーは外部 データ の dBASE データベースに接続できなくなりました。

▶ データ収集フォームの新規作成

データ収集フォームを新規に作成する機能が削除されました。

▶ [レプリケーションのオプション]の表示

Access 2010 以前のバージョンで .mdb ファイルを開くと、リボンの [データベース ツール] タブに [レ プリケーションのオプション] 表示されていた機能が削除されました。

▶ "スマート タグ" プロパティ

スマート タグ (操作タグ) はサポートされなくなりました。

▶ Developer Source Code Control のアドイン

Developer Source Code Control は、アドインとしてサポートされなくなりました。

▶ ワークフローのエントリ ポイント

ワークフローのエントリポイントは、使用できなくなりました。ユーザー インターフェイスマクロでは Workflow コマンドは使用できません。StartNewWorkFlow タスクまたは Workflow タスクを使用する UI マク ロを含む既存の Access 2010 データベースを Access 2013 で開いた場合は、警告が表示されます。

▶ アップサイジング ウィザード

アップサイジング ウィザードを使用して、Access データベーステーブルを新しいまたは既存の Microsoft SQL Server データベースにスケールアップできます。このウィザードは、Access 2013 から削除されました。

➤ Access パッケージソリューションウィザード

パッケージ ソリューション ウィザードは削除されました。パッケージ ソリューション ウィザードでは、 Access Runtime と一緒に Access デスクトップ データベース ファイルをパッケージ化し、ファイルを他の ユーザーに配布できます。

カレンダー コントロール

Access 2010 から、Microsoft カレンダー コントロール (mscal.ocx) は提供されなくなりました。代わり に、Access 2010 および Access 2013 では日付選択コントロールを使用できます。以前のバージョンの Access でカレンダー コントロールを使用していたアプリケーションを Access 2010 もしくは Access 2013 で開くと、エラー メッセージが表示され、カレンダー コントロールは表示されません。

この問題を解決するには、Access 2007 または以前のバージョンの Access を取得し、その中に含まれるカ レンダー コントロール (mscal.ocx) を使用してください。

4. マクロ・VBA の非互換について

本章では、マクロ・VPA の互換性の問題点や、それに関連する Office 2016 への機能変更点についても説明 しています。

4.1. マクロ全般に関する留意点

Office 2016 では、Office 2007 と同様に、VBA によるカスタム アプリケーションを利用できますが、いくつ か留意すべき点があります。既定でインストールされなくなったコンポーネントや、特定のオペレーティングシ ステム (OS) によって起こる問題などを説明します。マクロ コードについての留意点は本ドキュメントの「マ クロ コードの見直しが必要な項目」で説明します。

4.1.1. VBA 言語互換性、VBA プロジェクトについて

Office 2016 では、Office 2010 の 32 ビット版、および 64 ビット版で新たに採用された Visual Basic for Applications 7.0 (VBA 7) が引き続き採用されています。VBA 7 は、Office 2007 以前に採用されていた VBA 6 と互換性があります。ただし、32 ビット環境と 64 ビット環境での動作について、マクロ コードの修正が必 要になる場合があります。また、Office 2016 のオブジェクト モデルに対しても、追加、見直しが行われてい ますので、それに伴ったマクロ コードの修正が必要になる場合があります。

Office バージョン	VBA バージョン
Office 2012	7.1 (32 ビット版)
Office 2013	7.1 (64 ビット版)
Office 2010	7.0 (32 ビット版)
Office 2010	7.0 (64 ビット版)
Office 2007 SP 2	6.5
Office 2003 SP 3	6.5

表 4-1:Office バージョンと VBA バージョン

4.1.2. ファイル形式に関連した留意点

➤ Office 2016 非対応のファイル形式

Office 2016 では「97-2003 および 5.0/95 ブック形式」の保存をサポートしておりませんので、マクロ内 で「 xlExcel9795 」のファイル フォーマットを指定した構文がある場合などにエラーが発生することがあり ます。

たとえば、下記の構文が含まれるブックを Excel 2016 で開いても正常に動作させることができません。

ThisWorkbook.SaveAs FileFormat:=xlExcel9795

また、VBA のモジュール シートを含む Microsoft Excel 5.0/95 ブック ファイル (.xls) を開こうとした場 合、または Excel 2016 で作成した VBA プロジェクトを含むブックを Microsoft Excel 5.0/95 ブック (.xls) のファイル形式で保存しようとした場合、「これらのファイルを開いたり保存したりするには、現在インスト ールされていないコンポーネントが必要です」というエラー メッセージが表示されます。これらのエラー メ ッセージが表示された場合は、Office Web サイトで「VBA コンバーター」を検索することをお勧めします。

● 参考資料

「 Excel でワークブックを開くか保存しようとすると Microsoft Office オンラインで "VBA コンバーター" を検索することを要求されます。」

http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja-jp;926430

その他、Access 2016 では、Access データ プロジェクト(ADP) ファイル、および Access 97 データ ベース ファイルを開く機能が削除されています。

4.1.3. 既定でインストールされなくなった機能

Office 2016 では、以前のバージョンの Office に既定でインストールされていた一部のコンポーネントと機能がインストールされなくなりました。ここでは、それらの機能のうち、マクロを利用したカスタム アプリケーションでの影響が考えられる機能を説明します。

▶ 共通コンポーネント

• Office Startup Assistant (OSA)

Office Startup Assistant (OSA) は、Office 2007 では既定で無効になっていましたが、Office 2010 から提供されなくなりました。代わりに Office 2010 から、各アプリケーションの Backstage ビューの [新規作成] タブ が改善されました。

Microsoft Office Document Imaging (MODI)

Microsoft Office Document Imaging (MODI) は、Office 2010 から提供されなくなりました。以下の4機能については、代替方法があります。

- Microsoft Office Document Scanning
- Microsoft Document Image Writer のプリンター ドライバー
- .tiff ファイル、.mdi ファイルの表示
- OCR (Optical Character Recognition)

詳細はこちらをご覧ください。

「Microsoft Office Document Imaging (MODI) の機能を回復する代替の方法」

(Office 2010 時点の情報)

http://support.microsoft.com/kb/982760/ja

• アドインデザイナー

Office 2016 には Msaddndr.dll が含まれません。従って Msaddndr.dll を使用して作成されたアドイン は動作しません。

詳細はこちらをご覧ください。

[A custom add-in that uses interfaces in the Msaddndr.dll file does not work in Office 2013]

http://support.microsoft.com/kb/2792179/ja-jp

- ➢ Word 2016
- OASYS コンバーター

OASYS コンバーターは、Word 2010 から提供されなくなりました。そのため、ワープロ専用機 OASYS のデータファイルを Word のデータとして読み込むことができなくなりました。

● 一太郎コンバーター

ー太郎 コンバーターは、Word 2010 から提供されなくなりました。そのため、一太郎のデータファイル を Word のデータとして読み込むことができなくなりました。

● カスタム XML マークアップ

カスタム XML マークアップ機能は、Word 2010 から提供されなくなりました。そのため、カスタム XML マークアップを含むファイルを開いた場合、ファイルを保存すると、XML マークアップが削除されま す。

詳細はこちらをご覧ください。

「Word 2013 で文書を開くときにカスタム XML マークアップが削除されます。」

http://support.microsoft.com/kb/2761189/ja

Excel 2016

• Lookup ウィザード

Lookup ウィザードは、Excel 2010 から提供されなくなりましたが、INDEX 関数と MATCH 関数を組み 合わせた式を作成することで、列と行の交点の値を検索する数式を作成することができます。

● インターネット アシスタント VBA

インターネット アシスタント VBA は、Excel 2010 から提供されなくなりました。開発者がインターネット アシスタントの構文を使用して、Excel のデータを Web ページに発行することはできなくなりました。

● 条件付き合計式ウィザード

条件付き合計式ウィザードは、Excel 2010 から提供されなくなりましたが、SUMIF 関数や SUMIFS 関数 を利用した式を作成することで、指定した条件が満たされる場合に、セル範囲のデータを合計する数式を作 成することができます。

- Access 2016
 - カレンダー コントロール

Access 2010 から、Microsoft カレンダー コントロール (mscal.ocx) は提供されなくなりました。代わり に、Access 2016 では日付選択コントロールを使用できます。以前のバージョンの Access でカレンダー コントロールを使用していたアプリケーションを Access 2016 で開くと、エラー メッセージが表示され、 カレンダー コントロールは表示されません。

この問題を解決するための回避策として、Access 2007 または以前のバージョンの Access を取得し、そ の中に含まれるカレンダー コントロール (mscal.ocx) を使用してください。

「Access 2007 ダウンロード: Access Runtime」

http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyID=d9ae78d9-9dc6-4b38-9fa6-2c745a175aed&displaylang=ja

● dBASE サポート

Access 2013 から dBASE サポートが削除され、ユーザーは外部データ dBASE データベースに接続でき なくなりました。Access データ プロジェクト ファイルを開く機能が削除されました。

● Access の 3 段階の状態管理ワークフロー

Access 2013 からワークフローのエントリ ポイントは使用できなくなります。UI マクロでは、ワークフ ロー コマンドを使用できません。

InterConnect

InterConnect は Office 2010 から提供されなくなりました。Microsoft Office InterConnect 2007 は、今後 のバージョンの Microsoft Office でも、更新プログラムとして提供されるサービス パックを適用することで 引き続き利用できます。

SharePoint Workspace

SharePoint Workspace が Office 2013 製品ベースから削除されています。代替機能として Office 2013 に 付属する Foler Sync をリリースします。この機能により、SharePoint のドキュメント ライブラリをオフライ ンにして同期できます。

Microsoft Office Picture Manager

Picture Manager は Office 2003 でリリースされました。Office 2013 からこの機能は基本的に Windows Live フォト ギャラリーに置き換えられています。

▶ Microsoft クリップ オーガナイザー

Office 2013 以降から、クリップ オーガナイザー機能が削除されました。この機能は [メディアの挿入] ダ イアログ ボックスに置き換えられています。この機能を使用すると、Office.com のクリップ アート コレク ションやその他のオンライン ソースからコンテンツを見つけて挿入することができます。

参考資料

「Office 2013 での変更点」

http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc178954(v=office.15)

4.1.4. マクロの記録について

Office 2016 では、以前のバージョンに引き続きマクロの記録を利用できます。マクロの記録により自動生成 されたソース コードを利用することで、開発者の生産性を高めることができます。但し、一部製品のマクロ記 録機能の廃止や、オブジェクト モデルの変更などがあるため注意が必要となります。

▶ Excel の図形オブジェクトの操作

Excel 2007 では図形オブジェクトの操作はマクロに記録されなくなりましたが、Excel 2010 以降では、図形 オブジェクトの操作をマクロに記録することができるようになりました。

▶ オブジェクトの操作

リボン インターフェースの導入や、オブジェクト モデルの変更、オブジェクト既定名の変更などにより、以前のバージョンで生成されたマクロ コードが期待どおりに動作しない場合があります。CommandBar オブジェクトや図形 (Shape) オブジェクトを操作するマクロ コードを見直し、必要に応じて修正を行ってください。

詳細は本ドキュメントの「Excel の変更」をご覧ください。

4.1.5. OS などによる影響

- ▶ VB6.0 ランタイムのサポートに関して
 - VBA および Office における Visual Basic 6.0 ランタイムの使用

VBA は Office の一部として出荷されるため、Office のサポート ポリシーが適用されます。 しかし、 VBA が Visual Basic 6.0 ランタイム バイナリおよびコントロールの呼び出しまたはホストに使用される場 合があります。そのため、VB6 ランタイム シナリオが VBA 内でもサポートされるためには下記の要件を 満たしている必要があります。

- VB ランタイムをホストする OS のバージョンがサポート対象に含まれている
- VBA が同梱されている Office のバージョンがサポート対象に含まれている
- 使用するランタイム ファイルがサポート対象に含まれている

https://msdn.microsoft.com/ja-jp/vstudio/ms788708.aspx

• Windows 10 SDK での VB6.0 ランタイムのサポートに関して

Windows 10 では、Visual Basic 6.0 ランタイム版の VBA アプリケーションが正常に動作することを確認しているため、VB6 ランタイムは引き続き動作し利用可能ですが、Window10 上で既存のビルドを実行して、 起動前に問題を検出する必要があります。

● 参考資料

「Getting ready for Windows 10 – SDKs, compatibility, bridges」(2015 年 6 月 時点の情報) https://blogs.windows.com/buildingapps/2015/06/22/getting-ready-for-windows-10-sdks-compatibilitybridges/#mWb8cATDtW8HrtmZ.97

➤ MSXML 機能のエラーに関して

MSXML は OS や Office などに同梱されている XML のパーサー機能で、Windows 8 より、 DOMDocument クラスが MSXML から削除されたため、Windows 8 以降でこれを動作させようとすると、下 記のエラーが発生します。

コンパイルエラー: ユーザー定義型は定義されていません

● 参考資料

https://blogs.msdn.microsoft.com/jpsql/2016/11/25/howtouse msxml2domdocument/

Access 2016

Access 2016 で、全角のアラビア数字で始まる 1 文字以上のフィールド名が含まれるクエリを実行する と、クエリ式のエラーが表示されます。

参考資料

「Access 2007 または Access 2003 でクエリを実行すると、全角のアラビア数字が原因でエラー メッセ ージが表示される」 (Office 2007 時点の情報)

http://support.microsoft.com/kb/932994/ja

Windows Internet Explorer 7 以降のバージョン

Internet Explorer 7 以降で Office 2016 のドキュメントを表示すると、新しいウィンドウが開くことがあ ります。レジストリの設定を変更することにより、従来の Internet Explorer の様に同じウィンドウ内でド キュメントを開くことができます。

● 参考資料

「Windows Internet Explorer 7 または Internet Explorer 8 で Office 2007 のドキュメントを表示すると 新しいウィンドウが開く」 (Office 2007 時点の情報)

http://support.microsoft.com/kb/927009/ja

4.2. マクロ コードの見直しが必要な項目

Office 2007 で開発したカスタム アプリケーションを Office 2016 で利用する際に、マクロ コードを見直す 必要がある可能性があります。このトピックでは製品機能の変更や追加、それに伴うオブジェクト モデルの変 更など、Office 2007 から Office 2016 ヘマクロ コードを移行する際に影響がある事項を説明します。

4.2.1. コントロール

以下のコントロールは Office 2016 にてサポートされていません。

影響を受けるアプリケ 名称 詳細 ーション すべての Office Visual Basic 6.0 $\mathcal{O} \supset \mathcal{V} \land \Box - \mathcal{V}$ Visual Basic 6.0 のコントロールは、64 ビット バージョンの Office や、ARM プロセッサが使 われているデバイスで実行中の 32 ビット バー ジョンの Office では機能しません。これらの 環境で使用するには、サポートされているコン トロールへ置き換えてください。 Visual Basic 6.0 コントロールは、64 ビット バ すべての Office Visual Basic 6.0 コントロール (64 ビ ット OS) ージョンの Office では機能しません。Visual Basic 6.0 ランタイム ファイルは 32 ビットで あり、32 ビット OS または WOW エミュレー ション環境でのみサポートされます。 すべての Office Visual Basic 6.0 $\neg \succ \vdash \neg \neg \lor (ARM)$ Visual Basic 6.0 コントロールは、ARM プロセ ッサを使用するデバイスでは機能しません。 プロセッサ搭 載デバイス) Microsoft カレンダー コントロールは提供され すべての Office Microsoft カレンダー コントロール なくなりました。代わりに、他の日付選択コン トロールを使用してください。 Office Web コンポーネント すべての Office Office Web コンポーネント コントロールは機 能しなくなりました。Office Web コンポーネン トを個別にインストールすることで使用するこ とができます。 すべての Office ホスト コンピューターに ActiveX コントロー 未登録の ActiveX コントロール ルを登録することで使用することができます。

表 4-2:サポートされなくなったコントロール

4.2.2. 削除されたオブジェクト モデル

削除されたオブジェクト モデルは以下となります。

影響を受けるアプリケ	名称	詳細
ーション		
Word	カスタム XML 機能	次のメソッドおよびプロパティは推奨されません。アク
Outlook		セスすると実行時エラーが返されます。
		● XMLNodes.Add メソッド
		 Document.XMLHideNamespaces プロパティ
		● Document.XMLSaveDataOnly プロパティ
		● Document.XMLSchemaViolations プロパティ
		 XMLSchemaViolations オブジェクトおよびそのす べてのメンバー
		 XMLSchemaViolation オブジェクトおよびそのす べてのメンバー
		● Application TaskPanes、WdTaskPanes 列挙体の
		wdTaskPaneXMLStructure 定数 (5) が指定されて
		いる場合
		● Options.PrintXMLTag プロパティ
		● View.ShowXMLMarkup プロパティ
		● XMLChildNodeSuggestions コレクションおよびそ
		のすべてのメンバー
		● XMLChildNodeSuggestion オブジェクトおよびそ
		のすべてのメンバー
		 Selection.XMLParentNode プロパティ
		● Range.XMLParentNode プロパティ
Word	スマート タグ機能	次のオブジェクト、メソッド、およびプロパティは推奨
Outlook		されません。アクセスすると実行時エラーが返されま す。
		● SmartTag オブジェクトおよびメンバー
		● SmartTags コレクションおよびメンバー
		● SmartTagAction オブジェクトおよびメンバー
		● SmartTagActions コレクションおよびメンバー
		● SmartTagType オブジェクトおよびメンバー
		● SmartTagTypes コレクションおよびメンバー
		● XMLNode.SmartTag プロパティ
		次のメソッドは表示されず、アクセスすると通知なく失
		● Document.CheckNewSmartTags × 7 ット
		Document.kecneckSmartTags × 7 % F
		次のプロパティは表示されず、アクセスすると常に
		FALSE が返されます。
		● Document.EmbedSmartTags プロパティ
		● Document.SmartTagsAsXMLProps プロパティ

影響を受けるアプリケ	名称	詳細
ーション		
		● Options.LabelSmartTags プロパティ
		● Options.DisplaySmartTagButtons プロパティ
		 EmailOptions.EmbedSmartTag プロパティ
		次のプロパティは表示されず、アクセスすると常に true
		が返されます。
		● View.DisplaySmartTags プロパティ
		次のプロパティは表示されず、アクセスすると常に空の
		コレクションが返されます。
		 Application.SmartTagTypes プロパティ
		● Document.SmartTags プロパティ
		● Range.SmartTags プロパティ
		● Selection.SmartTags プロパティ
Excel	スマート タグ機能	次のプロパティは表示されず、アクセスすると常に
		FALSE が返されます。
		 Application.SmartTagRecognizers プロパティ
		次のオブジェクト、メソッド、およびプロパティは表示
		されず、アクセスすると実行時エラーが返されます。
		● SmartTag オブジェクトおよびメンバー
		● SmartTags コレクションおよびメンバー
		● SmartTagAction オブジェクトおよびメンバー
		● SmartTagActions コレクションおよびメンバー
		● SmartTagOptions コレクションおよびメンバー
		● SmartTagRecognizer オブジェクトおよびメンバー
		● SmartTagRecognizers コレクションおよびメンバ
		_
		次のメソッドは表示されず、アクセスすると通知なしに
		失敗します。
		● Workbook.RecheckSmartTags メソッド
		次のプロパティは表示されず、アクセスすると常に空の
		コレクションが返されます。
		● Workbook.SmartTagOptions プロパティ
		● Worksheet.SmartTags プロパティ
		● Range.SmartTags プロパティ
		● IRange.SmartTags プロパティ
		● DialogSheet.SmartTags プロパティ
		● IDialogSheet.SmartTags プロパティ
Word	自動要約機能	次のメソッドおよびプロパティは推奨されません。アク
Outlook		セスすると実行時エラーが返されます。
		● Document.AutoSummarize メソッド
		 Document.ShowSummary プロパティ
		● Document.SummaryViewMode プロパティ

影響を受けるアプリケ	名称	詳細				
ーション						
		● Document.SummaryLength プロパティ				
Word	バーコード機能	次のプロパティは非推奨であり、アクセスすると常に				
Outlook		FALSE が返されます。				
		● Envelope.DefaultPrintBarCode プロパティ				
		● MailingLabel.DefaultPrintBarCode プロパティ				
Word	Window.DocumentMapPercen	このプロパティにアクセスすると実行時エラーが発生し				
Outlook	tWidth プロパティ	ます。				
すべての Office	ToolbarButton.Edit メソッド	CommandBar Button Editor は削除されました。このメ				
		ソッドを呼び出すと、通知なしに失敗します。レガシ				
		CommandBar ボタンにカスタム イメージを適用するに				
		は、CommandBarButton.PasteFace メソッドまたは				
		CommandBarButton.Picture プロパティと				
		CommandBarButton.Mask プロパティを使用します。				
Word	Application.FileSearch	SkyDriveSignInOption は使用されなくなりました。代わ				
		りに、CloudSignInOption を使用してください。				

表 4-3:削除されたオブジェクト モデル

4.2.3. 動作が変更されたオブジェクト モデル

以下のオブジェクトを使用すると、前のバージョンの Office と動作が異なる場合があります。

影響を受けるアプリ	名称	詳細
ケーション		
Word	保存イベントの使用が検出された	互換性チェックで、保存頻度が高くなると、リ
		アルタイム共同編集セッション中にソリューシ
		ョンが意図したとおりに動作しないことがあり
		ます。保存を頻繁に行うときは、ソリューショ
		ンを絞るよう調整することをお勧めします。あ
		るいは、グループ ポリシーを使用してリアルタ
		イム共同編集を無効にします。
Excel	Application.DisplayDocumentInformation	InfoPath 製品廃止に伴い、ドキュメント情報パ
Word	Panel	ネルは廃止されました。このプロパティの設定
PowerPoint		は、アプリケーションによって異なり、True に
		設定すると、Word および PowerPoint ではプ
		ロパティ パネルを表示します。Excel では何も
		しません。False に設定すると、すべてのアプ
		リで何もしません。
Word	ContentControl.DropdownListEntries	SharePoint のルックアップ プロパティに対し
		て、この API の動作はサポートされなくなりま
		した。
PowerPoint	Presentation.InMergeMode プロパティ	共同編集が新しい競合するソリューション ウィ
		ンドウに置き換わったときに、古い結合モード
		がドキュメント ウィンドウに現れます。この状
		況でアクセスすると、
		Presentation.InMergeMode プロパティから
		False が返されます。
Excel	Application.FormulaBarHeight プロパテ	このプロパティにアクセスすると、Excel のア
	イ	クティブ ウィンドウに関連付けられた数式バー
		の高さの取得と設定を行うことができます。
		Excel の別のウィンドウの数式バーの高さを変
		更するには、対象のウィンドウをアクティブに
		してから Application.FormulaBarHeight プロパ
		ティを設定します。
Excel	Workbook.Protect メソッド	このメソッドを呼び出しても、Windows パラメ
		ーターの値にかかわらず、ワークブックのウィ
		ンドウ構造(高さ、幅、最小化または最大化され
		た状態)は保護されません。
Word	Table. Allow Page Breaks	Table.AllowPageBreaks プロパティは非推奨
PowerPoint		で、常に TRUE が返されます。同じ動作を実現
		するには、ParagraphFormat.KeepTogether プ
		ロパティ および
		ParagraphFormat.KeepWithNext プロパティの
		各プロパティを使用します。

表 4-4:動作が変更されたオブジェクト モデル

4.2.4. 推奨されないオブジェクト モデル

推奨されないオブジェクト モデルは以下の通りです。

影響を受けるアプリ	名称	詳細
ケーション		
Excel	Presentation.WorksheetFunction.Forecast	このメソッドは下位互換性を保つためオブジェ
	メソッド	クト モデルの一部として残っていますが、新し
		いアプリケーションでは
		WorksheetFunction.Forecast_Linear を使用する
		必要があります。
Word	Document.UpdateSummaryProperties メ	自動要約機能は削除されたため、このメソッド
Outlook	ソッド	を呼び出すと、実行時エラーが返されます。
Word	Comment.Delete メソッド	このメソッドを呼び出すと、以前のバージョン
Outlook		の Office の動作と同じように、コメントを削
		除してドキュメントに全返信を残します。コメ
		ントの全スレッドを削除するには、
		Comment.DeleteRecursively メソッドを使用し
		ます。コメントに返信するには、
		Comment.Replies.Add メソッドを使用します。
Word	Comment.Author プロパティ	現在、Word のコメントは作成者と関連付けら
Outlook		れています。このプロパティにアクセスする
		と、以前のバージョンの Office と同じように
		動作します。コメント投稿者の名前にアクセス
		するには、コメントに関連付けられている
		Contact オブジェクトの Name プロパティを使
		用します。
Word	Comment.Initial プロパティ	既定では、Word のコメントにコメント投稿者
Outlook		のイニシャルは表示されません。このプロパテ
		ィにアクセスすると、以前のバージョンの
		Office と同じように動作します。ただし、印刷
		されたドキュメントでは引き続きコメントにイ
		ニシャルが表示されます。
Word	Comment.ShowTip プロパティ	Word のコメントに関連付けられたポップ ヒン
Outlook		トは既定で表示されます。このプロパティにア
		クセスすると、常に FALSE が返されます。
Word	Options.BackgroundOpen プロパティ	大きな Web ドキュメントを Word のバックグ
Outlook		ラウンドで開くことはできません。このプロパ
		ティにアクセスすると、常に FALSE が返さ
		れ、別の値に設定できません。
Word	Document.ApplyQuickStyleSet メソッド	このメソッドを呼び出すと、引き続き Office
Outlook		2007 での動作と同じように機能し、ドキュメ
		ントのスタイル セットを変更します。Office

影響を受けるアプリ	名称	詳細
ケーション		
		2010 以降の新機能を使用するには、
		Document.ApplyQuickStyleSet2 メソッドに置き
		換えます。
Word	Document.SaveAs メソッド	名前を付けて保存機能は、以前のバージョンの
Outlook		Word と同じように機能し、このメソッドを呼
		び出すと、Office 2007 と同じように動作しま
		す。さらに、SaveAs2 メソッドが Document
		オブジェクトに追加されました。このメソッド
		には Office 2010 に導入されたプロパティが含
		まれます。Office 2010 以降の新機能を使用する
		には、Document.SaveAs メソッドを
		Document.SaveAs2 メソッドに置き換えます。
Word	アシスタント機能およびアンサー ウィ	以下のプロパティは下位互換性を保つためオブ
Outlook	ザード機能	ジェクト モデルの一部として残っていますが、
		新しい Office ソリューションでは使用しない
		でください。
		● Application.Assistant プロパティ
		● Application.AnswerWizard プロパティ
		以下のプロパティは非推奨で、これらのプロパ
		ティにアクセスすると実行時エラーが返されま
		す。
		● Global.Assistant プロパティ
		● Global.AnswerWizard プロパティ
Word Outlook	Options.WPHelp	このプロパティは非推奨となりました。
Word	Options.SetWPHelpOptions	このプロパティは非推奨となり、プロパティに
Outlook		アクセスするとエラーが返されます。
Word	Options.WPDocNavKeys	このプロパティは非推奨となり、プロパティに
Outlook		アクセスすると常に FALSE が返されます。
Word	Options.BlueScreen	このプロパティは非推奨となり、プロパティに
Outlook		アクセスすると常に FALSE が返されます。
Word	Options.AllowFastSave	このプロパティは非推奨となり、プロパティに
Outlook		アクセスすると常に FALSE が返されます。
Word	Application.DisplayStatusBar	このプロパティは非推奨となりました。代わり
Outlook		に Application.CommandBars("Status
		Bar")Visible を使用してください。
Word	Document.HTMLProject	このプロパティは非推奨となり、プロパティに
Outlook		アクセスするとエラーが返されます。
Word	Document.Versions	管理機能は削除されたため、このプロパティは
Outlook		非推奨となり、プロパティにアクセスするとエ
		ラーが返されます。
Word	Document.Route	回覧機能は削除されたため、このプロパティは
Outlook		非推奨となり、プロパティにアクセスするとエ
		ラーが返されます。
	4	

影響を受けるアプリ	名称	詳細
ケーション		
Word	Document. Has Routing Slip	回覧機能は削除されたため、このプロパティは
Outlook		非推奨となり、プロパティにアクセスするとエ
		ラーが返されます。
Word	Document.Routed	回覧機能は削除されたため、このプロパティは
Outlook		非推奨となり、プロパティにアクセスするとエ
		ラーが返されます。
Word	Document.RoutingSlip	回覧機能は削除されたため、このプロパティは
Outlook	5 1	非推奨となり、プロパティにアクセスするとエ
		ラーが返されます.
Word	Diagram OM	Diagram ナブジェクトお上び Diagram オブジ
Outlook		
		 Shapes.AddDlagram Shape Diagram
		 Shape.DiagramNode
		Shape.HasDiagram
		 ShapeHasDiagramNode
		 ShapeRange.DiagramNode ShapeBange.LiepDiagram
		 ShapeRange HasDiagram ShapeRange HasDiagramNode
Word	ShapeRange.Activate	図オブジェクトは非推奨のため、画像を図オブ
Outlook	1 3	ジェクトに変換するメソッド も非推奨になりま
		した。次のメソッドを使用するとエラーが発生
		 InlineShape Activate
		 Shape.Activate
		ShapeRange.Activate
Word	Shape.Activate	図オブジェクトは非推奨のため、画像を図オブ
Outlook		ジェクトに変換するメソッド も非推奨になりま
		した。次のメソッドを使用するとエラーが発生
		します。
		InlineShape.Activate
		Shape.Activate
\\ /and	LaliasChana Astivata	ShapeRange.Activate
Outlook	ininesnape.Activate	図オノンェクトは非推奨のため、画像を図オノ
outook		シェクトに変換するメソット も非推奨になりま
		した。次のメソッドを使用するとエラーが発生
		します。
		InlineShape.Activate
		ShapeRange.Activate
Word	Shapes.AddChart	このメソッドは下位互換性を保つためオブジェ
		クト モデルの一部として残っていますが、新し
		いアプリケーションでは使用しないでくださ
		い。代わりに Shanes AddChart2 メソッドを体
		・ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
		用してヽ/こでヾ'₀

影響を受けるアプリ	名称	詳細
ケーション		
		Shapes.AddChart2 メソッドは新しいグラフの
		既定のタイトルを指定します。ファイルにグラ
		フを追加した後に名前を変更する場合は、
		Chart.ChartTitle プロパティを使用するか、手動
		でタイトルを編集します。
Word	Application. Show Windows In Taskbar	このプロパティは非推奨となり、プロパティに
Outlook		アクセスすると常に TRUE が返されます。
Word	HangulHanjaConversionDictionaries.Builti	このプロパティは非推奨となり、プロパティに
Outlook	nDictionary	アクセスすると常に NULL が返されます。
Word	Template.AutoTextEntries	現在、定型句は構成要素の一部です。構成要素
Outlook		にアクセスするには、
		Template.BuildingBlockEntries プロパティ また
		は Template.BuildingBlockTypes プロパティの
		各プロパティを使用します。
		既定では、定型句は normal.dotm に保存され
		ます。
Word	View.RevisionsMode	このプロパティは非推奨となりました。代わり
Outlook		に View.MarkupMode プロパティを使用してく
		ださい。
Excel	ISlicerCache.ClearManualFilter	このメソッドは下位互換性を保つためオブジェ
		クト モデルの一部として残っていますが、新し
		いアプリケーションでは使用しないでくださ
		い。
Excel	Application.ShowWindowsInTaskbar	このメソッドは下位互換性を保つためオブジェ
		クト モデルの一部として残っていますが、新し
		いアプリケーションでは使用しないでくださ
		い。
Excel	Application.SaveISO8601Dates	このメソッドは下位互換性を保つためオブジェ
		クト モデルの一部として残っていますが、新し
		いアプリケーションでは使用しないでくださ
		い。
Excel	SlicerCache.ClearManualFilter	このメソッドは下位互換性を保つためオブジェ
		クト モデルの一部として残っていますが、新し
		いアプリケーションでは使用しないでくださ
		い。
Excel	Application.Assistant	このメソッドは下位互換性を保つためオブジェ
		クト モデルの一部として残っていますが、新し
		いアプリケーションでは使用しないでくださ
		ل،°
Excel	Application.AnswerWizard	このプロパティは非推奨となり、プロパティに
		アクセスするとエラーが返されます。
Excel	Global.Assistant	このメソッドは下位互換性を保つためオブジェ
		クト モデルの一部として残っていますが、新し
	I	1

影響を受けるアプリ	名称	詳細
ケーション		
		いアプリケーションでは使用しないでくださ
		い。
Excel	Shapes.AddChart	このメソッドは下位互換性を保つためオブジェ
		クト モデルの一部として残っていますが、新し
		いアプリケーションでは使用しないでくださ
		い。代わりに Shapes.AddChart2 メソッドを使
		用してください。

表 4-5:推奨されないオブジェクト モデル

4.2.5. Excel の変更

▶ シングルドキュメントインターフェース(SDI)への変更

Excel 2013 から、ウィンドウがマルチ ドキュメント インターフェイス (MDI) から、シングル ドキュメン ト インターフェース (SDI) に変更されました。SDI によって、各ブックは独自のトップレベル アプリ ウィン ドウおよび独自の対応するリボンを持ち、同一のプロセス インスタンスに存在することになるため、これがプ ログラミングに影響する可能性があります。

例として、次のコードを 2 つのブックで順番に実行すると、Office 2010 以前と Office 2016 では各ウィンド ウのステータス バーの状態が異なります。

Private Sub Workbook_Open()

'システム日時をステータスバーに表示する

Application.StatusBar = CStr(Now())

End Sub

Image: Non-She She 2012/10/22 18:	Image: Market and Sheet1 Sheet2 Sheet3 €⊒ 2012/10/22 18:47:40				
27 IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII					
	Sheet1	Sheet2 S	Sheet3	\oplus	
2012/10/22 18:55:10					
	Sheet1	Sheet2 S	Sheet3	\oplus	
2012/10/22 18:55:10					

図 4-1:同じインスタンスのすべてのブックのステータス バーが更新されるため、2 つのブックで同じ時刻となる

SDI への変更に関連して、オブジェクト モデルに以下の考慮事項があります。

機能	説明	SDI 化の影響
Application.Visible	オブジェクトを表示するか、非表	すべてのウィンドウが非表示になった場合、こ
	示にするかを決定します。	のプロパティは False になります。
		このプロパティを True に設定すると、すべての
		非表示のウィンドウが表示されます。
		シェルからドキュメントを開いた場合、そのウ
		ィンドウのみが表示され、このプロパティは
		Trueとなります。
		このプロパティは、ドキュメントの階層に関わ
		らず、すべてを表示/非表示します。
Application.ShowWindo	True を設定すると、開かれている	この設定は非推奨となりました。
wsInTaskbar	ブックごとに別々の Windows タ	既存のコードから呼ばれた場合、何もしませ
	スク バー ボタンを表示します。	ん。
	既定値は True です。	
Application.Caption	Excel のウィンドウのタイトル バ	現在のインスタンスのすべてのウィンドウで更
	ーに表示される名前です。名前が	新されます。
	省略されるか、または Empty 値	
	が設定されていると、"Microsoft	
	Excel" という文字列を取得しま	
	す。	
Application.Hwnd	Microsoft Excel ウィンドウの最上	アクティブウィンドウのハンドルが返されま
	位レベルのウィンドウ ハンドルを	す。
	示す長整数型 (Long) の値を取得	
	します。	
Application.FormulaBarH	アクティブ ウィンドウに関連付け	現在のインスタンスのすべてのウィンドウでは
eight	られた数式バーの高さを読み書き	なく、現在アクティブなブックのウィンドウに
	します。	作用します。
Application.DisplayForm	True を設定すると、数式バーを表	現在のインスタンスのすべてのウィンドウ上で
ulaBar	示します。	作用します。
VBA StatusBar Updates	ステータス バーを VBA により更	同じインスタンスのすべてのブックのステータ
	新します。	スバーが更新されます。
Workbook.Protect	ワークブックを変更できないよう	保護対象の「ウィンドウ」について、値の設定
(Password, Structure,	保護します。	内容に関わらず保護は有効になりません。
windows)		True を設定しても、何も起こりません。

表 4-6:SDI 化の影響を受けるオブジェクト モデル

▶ ワークシート関数の変更

ワークシート関数は確率分布の値を返す統計関数や配列に関わる関数などを中心に追加されています。

● 参考資料

「ワークシート関数一覧 (機能別)」(Office 2010 時点の情報)

http://office.microsoft.com/ja-jp/excel-help/HP010342656.aspx

「開発者向け Excel の新機能」

http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/office/ff837594(v=office.15).aspx

4.2.6. Outlook の変更

▶ オブジェクト モデル拡張

Outlook 2013 から、オブジェクト モデルが拡張され、以下のメンバーが追加されました。

オブジェクト	プロパティ/メソッド/イ	名称
	ベント	
AppointmentItem	イベント	ReadComplete
ContactItem	メソッド	ShowCheckAddressDialog
		ShowCheckFullNameDialog
		ReadComplete
DistListItem	イベント	ReadComplete
DocumentItem	イベント	ReadComplete
Explorer	プロパティ	ActiveInlineResponse
		ActiveInlineResponseWordEditor
	イベント	InlineResponse
		InlineResponseClose
JournalItem	イベント	ReadComplete
MailItem	イベント	ReadComplete
MeetingItem	イベント	ReadComplete
PostItem	イベント	ReadComplete
Remoteltem	イベント	ReadComplete
ReportItem	イベント	ReadComplete
SharingItem	イベント	ReadComplete
TaskItem	イベント	ReadComplete
TaskRequestAcceptIt	イベント	ReadComplete
em		
TaskRequestDeclineIt em	イベント	ReadComplete
TaskRequestItem	イベント	ReadComplete
TaskRequestUpdatelt em	イベント	ReadComplete

表 4-7: Outlook 2013 から拡張されたオブジェクトモデル

▶ オブジェクト モデル追加

Outlook 2013 から、以下のオブジェクトが追加されました。

オブジェクト	プロパティ/メソッド/イ	名称
	ベント	
PeopleView	プロパティ	Application
	プロパティ	Class
	プロパティ	Filter

オブジェクト	プロパティ/メソッド/イ	名称
	ベント	
	プロパティ	Language
	プロパティ	LockUserChanges
	プロパティ	Name
	プロパティ	Parent
	プロパティ	SaveOption
	プロパティ	Session
	プロパティ	SortFields
	プロパティ	Standard
	プロパティ	ViewType
	プロパティ	XML
	メソッド	Apply
	メソッド	Сору
	メソッド	Delete
	メソッド	GoToDate
	メソッド	Reset
	メソッド	Save

表 4-8: Outlook 2013 から追加されたオブジェクト

▶ オブジェクト モデル変更

Outlook 2013 から、オブジェクト モデルが変更され、以下のメンバーが削除されました。

オブジェクト	プロパティ/メソッド/イ	名称
	ベント	
AppointmentItem	プロパティ	Links
ContactItem	プロパティ	Links
DistListItem	プロパティ	Links
DocumentItem	プロパティ	Links
Exception	プロパティ	Links
JournalItem	プロパティ	Links
Link	プロパティ	ApplicationClass
		ltem
		Name
		Parent
		Session
		Туре
Links	プロパティ	ApplicationClass
		Count
		Parent
		Session
	メソッド	AddItem
		Remove
MailItem	プロパティ	Links
MeetingItem	プロパティ	Links
MobileItem	プロパティ	Actions
		Application
		Attachments
		BillingInformation
		Body
		Categories
		Class
		Companies
MobileItem	プロパティ	ConversationIndex
	7 4 7 7 1	ConversationTopic
		CreationTime
		Count
		EntryID
		FormDescription
		GetInspector
		HTMLBody
		Importance
		ItemProperties

オブジェクト	プロパティ/メソッド/イ	名称
	ベント	
		LastModificationTime
		MessageClass
		Mileage
		MobileFormat
		NoAging
		OutlookInternalVersion
		OutlookVersion
		Parent
		PropertyAccessor
		ReceivedByEntryID
		ReceivedByName
		ReceivedTime
		Recipients
		ReplyRecipientNames
		ReplyRecipients
		Saved
		SenderEmailAddress
		SenderEmailType
		SenderName
MobileItem	プロパティ	SendUsingAccount
		Sensitivity
		Sent
		SentOn
		Session
		Size
		SMILBody
		Subject
		Submitted
		То
		UnRead
		UserProperties
	メソッド	Close
		Сору
		Delete
		Display
		Forward
		Move
		Reply
		ReplyAll
		SaveSaveAs
		Send
	イベント	AttachmentAdd
		AttachmentReadAttachmentRemove

オブジェクト	プロパティ/メソッド/イ	名称
	ベント	
Mobileltem		BeforeAttachmentAdd
		BeforeAttachmentPreview
		BeforeAttachmentRead
		BeforeAttachmentSave
		BeforeAttachmentWriteToTempFile
		BeforeAutoSave
		BeforeCheckNames
		BeforeDelete
		Close
		CustomAction
	イベント	CustomPropertyChange event
		Forward
		Open
		PropertyChange
		Read
		Reply
		ReplyAll
		Send
		UnloadWrite
Noteltem	プロパティ	Links
PostItem	プロパティ	Links
Remoteltem	プロパティ	Links
ReportItem	プロパティ	Links
TaskItem	プロパティ	Links
TaskRequestAcceptItem	プロパティ	Links
TaskRequestDeclineItem	プロパティ	Links
TaskRequestItem	プロパティ	Links
TaskRequestUpdateItem	プロパティ	Links

表 4-9: Outlook 2013 から削除されたオブジェクト モデル

▶ Office モバイル サービスのサポート中止

Outlook 2013 以降から、Office モバイル サービス (OMS) はサポートされなくなりました。SharePoint では引き続きサポートされます。

▶ ユーザー データグラム プロトコル (UDP)の機能削除

Outlook 2010 以前で新しいメールの通知やフォルダーの更新で使用されていた UDP は削除され、非同期 通知方式に置き換えられました。

▶ アドインの無効化

Outlook 2016 ではアドインの起動、シャットダウン、フォルダー切り替え、アイテムのオープン、反復タ イミングなどのアドイン パフォーマンス カウンターが監視されます。たとえば、平均起動時間が指定されて いる時間を超えると、Outlook はアドインを無効にして、アドインが無効にされたことをユーザーに対して 通知します。ユーザーはアドインを無効化させないよう設定することができ、その場合 Outlook はアドイン がパフォーマンスしきい値を超えてもアドインを無効にしません。システム管理者の管理レベルも新しく拡張 され、グループ ポリシーを使用して無効にするアドインを指定できます。

アドインを無効化する既定の基準時間(ミリ秒)

- 起動:1,000
- 終了:500
- フォルダーの切り替え:500
- アイテムのオープン:500
- 呼び出し頻度:1,000
- 参考資料

「Outlook 2013 の新機能」

http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc179110(v=office.15).aspx

4.2.7. Access の変更

▶ [フィールドの追加] 作業ウィンドウについて

Access 2010 からは、[フィールドの追加] 作業ウィンドウがなくなり、代わりに [Data Type] ギャラリー が登場しました。[Data Type] ギャラリーのエントリ ポイントは [フィールドの追加] 作業ウィンドウに似て いますが、よりわかりやすくなっています。[フィールドの追加] 作業ウィンドウでは単一のフィールド テン プレートしか選択できませんでしたが、[Data Type] ギャラリーでは複数のフィールド テンプレートを選択 できるため、機能性がさらに高まりました。[フィールドの追加] 作業ウィンドウを呼び出すマクロは失敗 し、その際に通知メッセージが表示されることもありません。

▶ [オートフォーマット] について

[オートフォーマット] は、Access 2010 以降のフォームおよびレポート レイアウト ビューのリボン ユー ザー インターフェースから削除され、代わりに Office テーマが使用されるようになりました。[オートフォ ーマット] コマンドは従来と同じツール バー コントロール ID (TCID) で引き続き使用できるため、クイック アクセス ツール バーやカスタム リボンに追加できます。Office テーマはカスタマイズや拡張ができ、 Office.com からのダウンロードや他のユーザーと電子メールで共有することもできるので、フォームおよび レポートの書式オプションが従来よりも充実します。

● 参考資料

「Access 2013 の新機能」

http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/fp179914(v=office.15).aspx
Office

5. 参考資料

本ドキュメントで記述した Office 2007 から Office 2016 への変更点などに関する資料について下記に記載 します。

➢ Office 活用 TIPS

https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/jj219429.aspx

➢ Office 2010 の変更

https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc178954(v=office.14).aspx

➢ Office 2013 での変更点

https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc178954(v=office.15).aspx

➤ Office 2013 の新機能

https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc179178.aspx

➢ Office 2016 for Windows での変更点

https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/mt715497(v=office.16).aspx

▶ Office 2016 新機能

https://www.microsoft.com/ja-jp/office/homeuse/office2016/tips/default.aspx

➢ Office の互換性に関する問題

https://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/office/jj229903.aspx

Office

6. <u>おわりに</u>

本ドキュメントでは、Office 2007 から Office 2016 にかけて、主にインターフェースおよび機能面での追 加、変更、削除などの差異について説明してきました。

また、現在判明しているマクロの互換性の問題点や、それに関連する Office 2016 への機能変更点について も説明しています。一部コードの修正が必要な注意事項があるものの、環境面を工夫することで、運用が楽にな る面もございます。

新しく Office 2016 を導入される際などに本ドキュメントをご活用いただき、洗練された多彩な描画表現、 編集作業の効率化、堅牢なセキュリティなどの Office 2016 の新機能を、ビジネスにおいて十分にご活用くだ さい。

Office

このドキュメントに記載されている情報は、このドキュメントの発行時点におけるマイクロソフトの見解を反 映したものです。変化する市場状況に対応する必要があるため、このドキュメントは、記載された内容の実現に 関するマイクロソフトの確約とはみなされないものとします。また、発行以降に発表される情報の正確性に関し て、マイクロソフトはいかなる保証もいたしません。このドキュメントに記載されている情報は、このドキュメ ントの発行時点における製品を表したもので、計画のためにのみ使用してください。情報は、将来予告なしに変 更することがあります。

© 2017 Microsoft Corporation. All rights reserved.

Microsoft [®]、Office[®]、Office ロゴ[®]、Office 2007[®]、Office 2010[®]、Office 2013[®]、Office 2016[®]、 Excel[®]、PowerPoint[®]、Access[®]、Bing[®]、InfoPath[®]、Outlook[®]、OneDrive[®]、OneNote[®]、Visual Basic[®] は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

記載されている会社名、製品名には、各社の商標のものもあります。